

札幌医科大学要覧

令和2年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代理事長等	4
(3)	組織機構図	5
(4)	役職員	6
(5)	名誉教授	11
(6)	名誉博士	11
(7)	正職員数	12
	ア 総括表	
	イ 医学部学科目（基礎医学部門）職員数	
	ウ 医学部学科目（臨床医学部門）職員数	
	エ 医学部講座（基礎医学部門）職員数	
	オ 医学部講座（臨床医学部門）職員数	
	カ 保健医療学部職員数	
	キ 医療人育成センター職員数	
	ク 助産学専攻科職員数	
	ケ 附属病院職員数	
	コ 事務局職員数	
(8)	主な研究題目	16
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
	ウ 医療人育成センター	
	エ 寄附講座	
(9)	文部科学省補助金活用事業（G P 関連）	32
(10)	国際交流	33
	ア 国際医学交流	
	イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	
	ウ 教員在外研究等	
	エ 国際医学交流センター	
(11)	標本館	35
	ア 歴代館長	
	イ 概況	
	ウ 利用状況	
2	学事事項	36
(1)	学生に関する事項	36
	ア 年度別志願者及び入学者数	
	イ 定員及び現員数	
	ウ 出身地別現員数	
(2)	年次別卒業者数	38
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
(3)	国家試験合格状況	40
	ア 医師	
	イ 看護師	
	ウ 保健師	
	エ 理学療法士	
	オ 作業療法士	
	カ 助産師	
(4)	研究生数	42
(5)	修士及び博士（医学）の学位授与者数	43
(6)	修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数	43

3	附属病院	44
(1)	沿革	44
(2)	歴代病院長	45
(3)	患者概況	46
	ア 年間延患者数	
	イ 1日平均患者数	
(4)	中央部門稼働実績概況	47
	ア 放射線部使用状況	
	イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数	
	ウ 薬剤部調剤件数	
	エ 手術部手術件数	
(5)	分娩件数	50
(6)	病床数	51
(7)	病理解剖件数	52
(8)	医療相談状況（令和元年度）	53
	ア 各科別件数	
	イ 相談内容別件数	
	ウ がん看護相談件数	
(9)	病院経営概況	54
	ア 病院診療収入稼働額	
	イ 医療行為別診療収入稼働額	
(10)	栄養管理サポート概況	55
	ア NST介入件数	
	イ 栄養指導件数	
4	医学部附属フロンティア医学研究所	57
(1)	沿革	
(2)	歴代研究所長	
(3)	歴代研究所副所長	
(4)	組織	
5	医学部教育研究機器センター	58
(1)	沿革	
(2)	歴代施設部長及びセンター長	
(3)	組織	
6	医学部動物実験施設部	60
(1)	沿革	
(2)	歴代施設部長	
(3)	組織	
(4)	関連委員会・指針	
(5)	事業の概要（令和元年度）	
	ア 施設利用者数	
	イ 実験動物購入数及び飼育数	
	ウ 実験動物検疫検査実績数	
7	附属総合情報センター	62
(1)	沿革	
(2)	センター長	
(3)	組織	
(4)	事業の概要及び主な施設の整備状況 （情報システム部門）	
	ア 教育支援システム	
	イ 研究支援システム	
	ウ 地域医療支援システム	
	エ 図書館システム	
	オ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	

(図書館部門)	
ア	組織・施設概要
イ	蔵書
ウ	入館者数内訳（令和元年度）
エ	利用概要（令和元年度）
オ	地域医療支援（令和元年度文献複写受付）
カ	特徴的な業務
8	附属産学・地域連携センター…………… 66
(1)	沿革
(2)	歴代センター長
(3)	組織
(4)	業務概要
ア	研究部門
イ	開発部門
(5)	文部科学省科学研究費助成事業
(6)	受託研究受入れ状況
(7)	特許出願等の状況
9	寄附講座…………… 69
(1)	生体工学・運動器治療開発講座…………… 69
ア	沿革
イ	担当教授及び代表教員
ウ	組織
エ	研究計画の概要
(2)	アイン・ニトリ緩和医療学推進講座…………… 70
ア	沿革
イ	担当教授及び代表教員
ウ	組織
エ	研究計画の概要
(3)	再生治療推進講座…………… 71
ア	沿革
イ	担当教授及び代表教員
ウ	組織
エ	研究計画の概要
(4)	北海道病院前・航空・災害医学講座…………… 72
ア	沿革
イ	担当教授及び代表教員
ウ	組織
エ	研究計画の概要
10	決算・予算…………… 73
(1)	令和元年度決算…………… 73
(2)	令和2年度予算…………… 74
11	校舎等建物面積…………… 75

1 概要

(1) 沿革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を開設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙(大学記念日とする)
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止 生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部(入学定員90名)開設 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年4月1日	特定機能病院として承認
平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科(入学定員24名)開設 (看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻)
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置

平成11年4月1日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年6月11日	新図書館開設
平成12年4月1日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員6名)開設 学務部を廃止し、学生部を設置 医学部に副学部長制(2名)施行 臨床検査医学講座増設
平成12年6月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年4月1日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ) 地域医療支援センター設置
平成13年4月16日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年4月1日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年10月1日	札幌医科大学記念ホール開設
平成14年12月1日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更
平成16年4月1日	(財)大学基準協会による相互評価の結果、適合認定を受ける
平成16年9月27日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成18年4月1日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員2名)開設
平成19年4月1日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成19年10月1日	機器診断学廃止
平成20年2月13日	保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員 大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月1日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年4月1日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年6月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行
平成23年4月1日	医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置 医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更 医科知的財産管理学、病院経営・管理学、放射線診断学を増設 生化学講座を分子生物学講座に名称変更 (財)大学基準協会による認証評価の結果、適合認定を受ける
平成24年3月31日	医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止
平成24年4月1日	助産学専攻科設置 救急・集中治療医学講座を改組し、救急医学講座、集中治療医学を増設 遺伝医学増設 附属病院中央写真室を廃止し、教育研究機器センター画像・映像支援部門を設置
平成24年9月1日	外科学第二講座を改組し、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学を増設
平成25年4月1日	内科学第一講座を消化器・免疫・リウマチ内科学講座に、内科学第二講座を循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座に、内科学第三講座を呼吸器・アレルギー内科学講座に、内科学第四講座を腫瘍・血液内科学講座に、外科学第一講座を消化器・総合・乳腺・内分泌外科学講座に、医学部附属フロンティア医学研究所の分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更 事務局病院課栄養給食部門、患者サービスセンターを統合し、附属病院に医療連携・総合相談センターを設置
平成25年8月1日	医学部附属フロンティア医学研究所の遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更
平成26年4月1日	事務局学務課入試室を廃止し、アドミッションセンターを設置 附属病院看護キャリア支援センターを設置
平成26年6月1日	病院経営・管理学を病院管理学に名称変更
平成26年9月25日	新体育館・リハビリテーション実習施設・保育所竣工
平成26年10月1日	保健管理センター設置
平成26年12月1日	保健医療学部看護学科の再編に伴い、基礎臨床医学講座を廃止 臨床検査医学講座を感染制御・臨床検査医学講座に名称変更

平成27年4月1日	事務局病院課、医事センターを廃止 附属病院の事務部門を再編し、病院課、医事相談センター、医療連携センター、栄養管理センターを設置、病院経営・管理部を経営管理部に、医療安全推進部を医療安全部に名称変更
平成28年4月1日	消化器・免疫・リウマチ内科学講座を改組し、消化器内科学講座、免疫・リウマチ内科学を増設 腫瘍・血液内科学講座を改組し、腫瘍内科学講座、血液内科学を増設 医療人育成センター入学者選抜企画研究部門を廃止
平成29年3月29日	保健医療学研究棟増築部分竣工
平成29年4月1日	事務局管財課に施設移転室を設置 経営管理部経営管理課と医事相談センター（診療報酬部門）を統合し、医事経営管理部医事経営課を設置 医療連携センターと医事相談センター（相談部門）を統合し、医療連携福祉センターを設置 医科知的財産管理学を先端医療知財学に、臨床研修センターを臨床研修・医師キャリア支援センターに名称変更
平成29年10月1日	医療統計学を増設
平成29年12月25日	教育研究施設Ⅰ竣工
平成30年3月23日	附属病院増築棟（西病棟）竣工
平成30年4月1日	形成外科学を学科目から講座に改組 事務局学務課、附属病院病院課、附属産学・地域連携センターの研究支援に関する事務部門を統合し、事務局研究支援課を設置 附属病院医療情報部、臨床研究支援センターを設置
平成30年8月1日	附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更、附属病院遺伝子診療科を設置
平成31年4月1日	地域医療総合医学講座を総合診療医学講座に名称変更 アドミッションセンターを廃止 医療人育成センターに、入試・高大連携部門、統合IR部門を設置
令和2年4月1日	助産学専攻科を専攻科に名称変更し、専攻科に公衆衛生看護学専攻と助産学専攻を設置
令和2年9月1日	医療統計学を医療統計・データ管理学に名称変更

(2) 歴代理事長等

◎理事長

平成19年4月1日	—	平成22年3月31日	今井浩三
平成22年4月1日	—	平成28年3月31日	島本和泰
平成28年4月1日	—	現	塚本泰司

◎学長

昭和25年4月1日	—	昭和36年3月31日	大野精七
昭和36年4月1日	—	昭和40年3月31日	中川幸太郎
昭和40年4月1日	—	昭和45年2月1日	新保邊左武郎
昭和45年2月1日	—	昭和47年2月8日	渡邊左武郎
昭和47年2月9日	—	昭和55年2月8日	渡邊左武郎
昭和55年2月9日	—	昭和61年2月8日	和田武雄
昭和61年2月9日	—	平成4年2月8日	菊地武浩
平成4年2月9日	—	平成10年2月8日	谷内昭明
平成10年2月9日	—	平成16年2月8日	秋野豊明
平成16年2月9日	—	平成22年3月31日	今井和泰
平成22年4月1日	—	平成28年3月31日	島本和泰
平成28年4月1日	—	現	塚本泰司

(学長職務代理)

◎医学部長

平成5年4月1日	—	平成8年2月29日	秋野豊明
平成8年3月1日	—	平成12年2月29日	森保道孝
平成12年3月1日	—	平成16年2月29日	神保孝昇
平成16年3月1日	—	平成18年2月28日	佐藤昇規
平成18年3月1日	—	平成22年3月31日	當瀬規由
平成22年4月1日	—	平成26年3月31日	黒木嘉幸
平成26年4月1日	—	平成30年3月31日	堀尾嘉哲
平成30年4月1日	—	現	三浦幸嗣

◎保健医療学部長

平成5年4月1日	—	平成9年3月31日	近藤潤子
平成9年4月1日	—	平成14年12月28日	佐藤公知
平成15年1月10日	—	平成15年2月28日	乾山知子
平成15年3月1日	—	平成21年3月31日	丸山公輝
平成21年4月1日	—	平成27年3月31日	乾日向
平成27年4月1日	—	現	大日輝美

(学部長事務代理)

(4) 役職員

(令和2年10月1日現在)

□法人

◎役員会

理事長	塚本泰司
副理事長	高木洋
理事	三浦哲嗣
〃	大日向輝美
〃	土橋和文
〃	近江秀彦
監事	山崎博
〃	竹内弘雄

◎経営審議会

議長	塚本泰司
〃	高木洋
〃	三浦哲嗣
〃	土橋和文
〃	近江秀彦
〃	太田三夫
〃	瀬尾英生
〃	水野克也
〃	山本邦彦
〃	徳田禎久

◎教育研究評議会

議長	塚本泰司
〃	三浦哲嗣
〃	大日向輝美
〃	土橋和文
〃	佐々木泰史
〃	小林宣道
〃	山下敏彦
〃	長峯隆幸
〃	堀尾嘉夫
〃	小海康夫
〃	山蔭道明
〃	高橋素子
〃	渡辺藤豪
〃	小塚直樹
〃	中村真理子
〃	今野美紀
〃	鈴木拓史
〃	船橋雅史
〃	佐藤孝紀

◎監査室

室長(兼)	教授	坂田耕一
-------	----	------

□大学

学長(兼)

塚本泰司

◎事務局

事務局次長	船橋雅史
事務局次長	今田和一
総務課長	市川晶一
管財課長	高梨勝則
施設移転室長	清水浩史
経営企画課長	関根伸
兼財務室長	渡辺厚義
学務課長	森越誠
研究支援課長	今田美幸

◎医学部

学 部 長(兼) 教授 三 浦 哲 嗣
副 学 部 長(〃) 〃 山 蔭 道 明
〃 (〃) 〃 高 橋 素 子

○学科目

基礎医学部門

先端医療知財学 教授 石 埜 正 穂
遺 伝 医 学 〃 櫻 井 晃 洋

臨床医学部門

産科周産期科学(兼) 教授 齋 藤 豪 豪
医 療 薬 学 〃 福 土 将 秀
病 理 診 断 学 〃 長 谷 川 匡
放 射 線 診 断 学 〃 畠 中 正 光
病 院 管 理 学(兼) 〃 土 橋 和 文
集 中 治 療 医 学 〃 升 田 好 樹
呼 吸 器 外 科 学 〃 渡 辺 敦 敦
血 液 内 科 学 〃 小 船 雅 義
免疫・リウマチ内科学 〃 高 橋 裕 樹
医 療 統 計 学 〃 樋 之 津 史 郎

○講座

基礎医学部門(13講座)

解剖学第一講座 (不在)
解剖学第二講座 教授 藤 宮 峯 子
細胞生理学講座 〃 當 瀬 規 嗣
神経科学講座 〃 長 峯 隆
医 化 学 講 座 〃 高 橋 素 子
分子生物学講座 〃 鈴 木 拓
病理学第一講座 〃 鳥 越 俊 彦
病理学第二講座 〃 小 山 内 誠
微生物学講座 〃 横 田 伸 一
薬 理 学 講 座 〃 堀 尾 嘉 幸
衛 生 学 講 座 〃 小 林 宣 道
公衆衛生学講座 〃 大 西 浩 文
法 医 学 講 座 〃 渡 邊 智

臨床医学部門(24講座)

消化器内科学講座 教授 仲 瀬 裕 志
循環器・腎臓・代謝内分
内 科 学 講 座 (兼) 〃 三 浦 哲 嗣
呼吸器・アレルギー内科学 〃 (不在)
腫瘍内科学講座 教授 加 藤 淳 二
神経内科学講座 〃 下 濱 俊
消化器・総合・乳腺・内分
泌 外 科 学 講 座 〃 竹 政 伊 知 朗
心臓血管外科学講座 〃 川 原 田 修 義
整形外科学講座 〃 山 下 敏 彦
脳神経外科学講座 〃 三 國 信 啓
産婦人科学講座 〃 齋 藤 豪 豪
小 兒 科 学 講 座 〃 川 崎 幸 彦
眼 科 学 講 座 〃 大 黒 浩 久
皮 膚 科 学 講 座 〃 宇 原 久

泌尿器科学講座 教授 舩 森 直 哉
耳鼻咽喉科学講座 〃 高 野 賢 一
神経精神医学講座 〃 河 西 千 秋
放射線医学講座 〃 坂 田 耕 一
麻 醉 科 学 講 座 〃 山 蔭 道 明
総合診療医学講座 〃 辻 喜 久
感染制御・臨床検査医学 〃 高 橋 聡
講 座
救急医学講座 〃 成 松 英 智
口腔外科学講座 〃 宮 崎 晃 亘
リハビリテーション 〃 石 合 純 夫
医 学 講 座
形成外科学講座 〃 四 ッ 柳 高 敏

○医学部附属フロンティア医学研究所

所 長(兼) 教授 小 海 康 夫
細胞科学部門 〃 小 島 隆
ゲノム医科学部門 〃 時 野 隆 至
組織再生学部門 〃 三 高 俊 広
分子医学部門 准教授 佐 久 間 裕 司
病態情報学部門 教授 小 海 康 夫
神経再生医療学部門 〃 本 望 修
免疫制御医学部門 〃 一 宮 慎 吾

○医学部教育研究機器センター

センター長(兼) 教授 當 瀬 規 嗣
システム管理部門長(〃) 〃 當 瀬 規 嗣
形態解析部門長(〃) 講師 高 澤 啓
電子顕微鏡部門長(〃) 准教授 二 宮 孝 文
蛋白質解析部門長(〃) 教授 高 橋 素 子
遺伝子解析部門長(〃) 〃 鈴 木 拓
細胞バンク部門長(〃) 講師 佐 々 木 祐 典
ラジオアイソトープ部門長(〃) 教授 畠 中 正 光
画像・映像支援部門長(〃) 〃 鳥 越 俊 彦

○医学部動物実験施設部

部 長(兼) 教授 一 宮 慎 吾
副 部 長(〃) 講師 佐 々 木 崇

◎保健医療学部

学 部 長(兼) 教授 大日向 輝美
副 学 部 長(〃) 〃 小塚 直樹
〃 (〃) 〃 中村 眞理子

○看護学科

学 科 長(兼) 教授 今野 美紀
看護学第一講座(〃) 〃 大日向 輝美
〃 〃 城丸 瑞恵
〃 〃 堀口 雅美
〃 〃 水口 徹
看護学第二講座 〃 正岡 経子
〃 〃 上田 泉
看護学第三講座 〃 今野 美紀
〃 〃 長谷川 眞澄
〃 〃 齋藤 重幸

○理学療法学科

学 科 長(兼) 教授 小塚 直樹
理学療法学第一講座 〃 小塚 直樹
理学療法学第二講座 〃 片寄 正樹
〃 〃 松村 博文
〃 〃 渡邊 耕太

○作業療法学科

学 科 長(兼) 教授 松山 清治
作業療法学第一講座 〃 中村 眞理子
〃 〃 太田 久晶
〃 〃 今井 富裕
作業療法学第二講座 〃 仙石 泰仁
〃 〃 池田 望
〃 〃 松山 清治

◎医療人育成センター

センター長(兼) 教授 佐々木 泰史
副センター長 (不在)

○入試・高大連携部門

部 門 長(兼) 教授 鈴木 拓
副 部 門 長(〃) 〃 小山内 誠
〃 (〃) 〃 仙石 泰仁

○教養教育研究部門

部 門 長(兼) 教授 佐々木 泰史

学 科 目

教養教育科目

哲学・倫理学	准教授	船 木 祝
心 理 学	〃	高 橋 義 信
法 学 ・ 社 会 学	〃	旗 手 俊 彦
〃	〃	道 信 良 子
英 語		(不在)
運 動 科 学		(不在)
物 理 学	教授	鷺 見 紋 子
化 学	〃	白 土 明 子
生 物 学	〃	佐 々 木 泰 史
数 学 ・ 情 報 科 学	准教授	大 柳 俊 夫
〃	〃	加 茂 憲 一

○教育開発研究部門

部 門 長(兼) 教授 相 馬 仁
教育開発研究部門 〃 相 馬 仁

○統合IR部門

部 門 長(兼) 教授 樋之津 史郎

◎専攻科

専 攻 科 長(兼) 教授 大日向 輝美
公衆衛生看護学専攻(〃) 〃 上田 泉
助産学専攻(〃) 〃 正岡 経子

◎附属病院

病 院 長(兼) 教授 土 橋 和 文
 副 院 長(〃) 〃 渡 辺 敦
 〃 (〃) 〃 齋 藤 豪
 〃 (〃) 〃 舛 森 直 哉
 〃 (〃) 看護部長 工 藤 美 幸
 病 院 事 務 長(〃) 市 川 晶 一

診療科 (29科938床)

消化器内科長(兼) 教授 仲 瀬 裕 志
 免疫・リウマチ内科長(〃) 〃 高 橋 裕 樹
 循環器・腎臓・代謝内分泌科長(〃) 〃 三 浦 哲 嗣
 呼吸器・アレルギー内科長(〃) 〃 三 國 信 啓
 腫瘍内科長(〃) 〃 加 藤 淳 二
 血液内科長(〃) 〃 小 船 雅 義
 脳神経内科長(〃) 〃 下 濱 俊
 消化器・総合・乳腺・内分泌外科長(〃) 〃 竹 政 伊 知 朗
 心臓血管外科長(〃) 〃 川 原 田 修 義
 呼吸器外科長(〃) 〃 渡 辺 敦
 整形外科長(〃) 〃 山 下 敏 彦
 脳神経外科長(〃) 〃 三 國 信 啓
 神経再生医療科長(〃) 〃 本 望 修
 婦人科長(〃) 〃 齋 藤 豪
 産科周産期科長(〃) 〃 齋 藤 豪
 小児科長(〃) 〃 川 崎 幸 彦
 眼科長(〃) 〃 大 黒 浩 浩
 皮膚科長(〃) 〃 宇 原 久
 形成外科長(〃) 〃 四 ッ 柳 高 敏
 泌尿器科長(〃) 〃 舛 森 直 哉
 耳鼻咽喉科長(〃) 〃 高 野 賢 一
 神経精神科長(〃) 〃 河 西 千 秋
 放射線治療科長(〃) 〃 坂 田 耕 一
 放射線診断科長(〃) 〃 畠 中 正 光
 麻酔科長(〃) 〃 山 蔭 道 明
 総合診療科長(〃) 〃 辻 喜 久
 歯科口腔外科長(〃) 〃 宮 崎 晃 亘
 リハビリテーション科長(〃) 〃 石 合 純 夫
 遺伝子診療科長(〃) 〃 櫻 井 晃 洋

病院課

病 院 課 長 奥 野 良 聡
 医事経営管理部
 部 長(兼) 教授 土 橋 和 文
 副 部 長(〃) 市 川 晶 一
 医事経営課
 医事経営課長 亀 岡 一 人 至
 薬剤部
 部 長(兼) 教授 福 土 将 秀
 検査部
 部 長(兼) 教授 高 橋 聡
 病理部
 部 長(兼) 教授 長 谷 川 匡
 放射線部
 部 長(兼) 教授 坂 田 耕 一
 手術部
 部 長(兼) 教授 三 國 信 啓
 医療材料部
 部 長(兼) 教授 仲 瀬 裕 志
 リハビリテーション部
 部 長(兼) 教授 石 合 純 夫

高度救命救急センター

セ ン タ ー 長(兼) 教授 成 松 英 智
 集中治療部
 部 長(兼) 教授 升 田 好 樹
 医療安全部
 部 長(兼) 教授 舛 森 直 哉
 感染制御部
 部 長(兼) 教授 高 橋 聡
 臨床工学部
 部 長(兼) 教授 川 原 田 修 義
 看護部
 部 長 工 藤 美 幸
 医療連携福祉センター
 セ ン タ ー 長(兼) 教授 齋 藤 豪
 栄養管理センター
 セ ン タ ー 長(兼) 教授 齋 藤 豪
 臨床研修・医師キャリア支援センター
 セ ン タ ー 長(兼) 教授 辻 喜 久
 看護キャリア支援センター
 セ ン タ ー 長(兼) 看護部長 工 藤 美 幸
 医療情報部
 部 長(兼) 教授 大 西 浩 文
 臨床研究支援センター
 セ ン タ ー 長(兼) 教授 土 橋 和 文

◎学生部

部 長(兼) 教授 小 林 宣 道
 副 部 長(〃) 〃 齋 藤 重 幸
 (〃) 〃 鈴 木 拓

◎保健管理センター

セ ン タ ー 長(兼) 教授 高 橋 聡
 副 セ ン タ ー 長(〃) 〃 齋 藤 重 幸

◎国際交流部

部	長(兼)	教授	山	下	敏	彦
	(〃)	〃	舩	森	直	哉
	(〃)	〃	山	蔭	道	明
	(〃)	〃	小	塚	直	樹

◎附属総合情報センター

センター	長(兼)	教授	長	峯	隆
副センター	長(〃)	准教授	大	西	浩
	〃		永	沼	千
					浩

◎附属産学・地域連携センター

センター	長(兼)	教授	堀	尾	嘉	幸
研究部門	長(〃)	教授	堀	尾	嘉	幸
開発部門	長(〃)	〃	石	埜	正	穂

(寄附講座)

生体工学・運動器治療開発講座		特任教授	名	越	智
7イ・ニトリ緩和医療学講座	(兼)	教授	山	蔭	道
再生治療推進講座	(兼)	教授	本	望	修
北海道病院前・航空・災害医学講座	(兼)	教授	成	松	英
					智

(7) 正職員数

(令和2年10月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

	計	学 部						保健医療学部			医療人育成センター			専攻科		附 属 病 院	保 健 管 理 セ ン タ ー	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー	事 務 局	監 査 室		
		医 学 科				医 附 属 フ ロ ン テ イ ア 所	教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	作 業 療 法 学 科	入 試 ・ 高 大 連 携 部 門	教 養 教 育 研 究 部 門	教 育 開 発 研 究 部 門	統 合 I R 部 門							公 衆 衛 生 看 護 学 専 攻	助 産 学 専 攻
		学 科 目 (基 礎 医 学 部 門)	学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	講 座 (基 礎 医 学 部 門)	講 座 (臨 床 医 学 部 門)																		
教 育 職	学 長	1																					
	教 授	75	2	9	12	23	6		9	4	6	3	1										
	准 教 授	56		5	8	17	4		4	3	3	10	1	1									
	講 師	91		4	14	48	3	1	12	2	3	2	2										
	助 教 手	170	1	18	23	109	6		7	4	1	1											
計	400	1	3	36	58	197	20	1	36	13	14	3	15	2	1								
一 般 職	局 長 ・ 次 長 等	3															1				2		
	課 長 等 ・ 副 課 長 等	28															8				18		
	一 般 事 務 職 員	129	1														45	1			77		
	技 師	22			1		1	4	2								2	5			12		
	精 神 保 健 福 祉 士	2															2						
	電 頭 操 作 員	2						2															
	司 書	5																5					
	研 究 補 助 員	3					2					1											
技 能 員	1															1							
看 護 助 手	1															1							
計 (1)	196	1		1		3	6	2				1				60		11		109	2		
医 療 職	獸 医 師	2						2															
	栄 養 士	7															7						
	臨 床 検 査 技 師	56					1	2									53						
	衛 生 検 査 技 師																						
	薬 剤 師	55															55						
	診 療 放 射 線 技 師	54						4									50						
	理 学 療 法 士	17															17						
	作 業 療 法 士	6															6						
	言 語 聴 覚 士	5															5						
	理 療 訓 練 員																						
臨 床 工 学 技 士	20															20							
歯 科 衛 生 士	4															4							
歯 科 技 工 士	2															2							
視 能 訓 練 士	1															1							
計 (2)	229					1	6	2								220							
看 護 職	看 護 師	741															741						
	助 産 師	34															34						
	保 健 師	1																1					
計 (3)	776															775	1						
(1)+(2)+(3)	1,201	1		1		4	12	4				1				1,055	1	11		109	2		
総 計	1,601	1	4	36	59	197	24	12	5	36	13	14	3	16	2	1	1,055	1	11		109	2	

※ 役員で職員を兼務する者(理事長、医学部教授、保健医療学部教授)4名を含む

※ 職員数は、再雇用職員を含む

イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学 科 目 (基礎医学部 門)			
		先 端 医 療 知 財 学	遺 伝 医 学	計	
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	1	1	2
	教 准 講 助 助	1	1	1	
		計	1	2	3
一 般 職	一 般 事 務 員	1	1	1	
合 計		1	3	4	

ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学 科 目(臨床医学部 門)											
		産 科 周 産 期 科 学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	放 射 線 診 断 学	病 院 管 理 学	集 中 治 療 医 学	呼 吸 器 外 科 学	血 液 内 科 学	免 疫 ・ リ ウ マ チ 内 科 学	デ ィ 療 タ 統 計 学 ・	計	
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	教 准 講 助 助	3	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	5
		計	4	2	2	2	2	2	3	2	2	2	18
一 般 職	一 般 事 務 員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計		4	1	4	4	5	5	4	4	3	2	2	36

エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (基礎医学部 門)													
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	分 子 生 物 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学	法 医 学	計
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	教 准 講 助 助	1	1	1	1	1	2	1	2	2	3	2	3	1	8
		計	3	2	2	2	2	1	3	2	3	2	1	14	
一 般 職	研 究 補 助 員 師	1													23
		計	4	5	5	4	4	5	5	5	5	4	5	2	1
合 計		5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	4	5	2	59

オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (臨床医学部 門)																												
		消 化 器 内 科 学	内 分 泌 内 科 学	循 環 器 科 学	呼 吸 器 ・ ア レ ル ギ ヤ 学	腫 瘍 内 科 学	神 經 内 科 学	腺 ・ 内 分 泌 外 科 学	消 化 器 ・ 総 合 ・ 乳 学	心 臓 血 管 外 科 学	整 形 外 科 学	脳 神 經 外 科 学	産 婦 人 科 学	小 児 科 学	眼 科 学	皮 膚 科 学	泌 尿 器 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	神 經 精 神 医 学	放 射 線 医 学	麻 酔 科 学	総 合 診 療 医 学	検 査 制 御 ・ 臨 床 医 学	感 染 急 救 医 学	救 急 医 学	口 腔 外 科 学	医 リ ハ ビ リ テ ィ シ ョ ン 学	形 成 外 科 学	計	
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	23
	教 准 講 助 助	2	1	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	3	2	2	3	3	1	2	1	2	1	3	3	2	1	2	18	
		計	3	2	3	2	2	2	3	3	3	3	4	5	4	4	4	4	2	3	2	3	4	4	4	3	3	4	47	
一 般 職	研 究 補 助 員 師	5	8	5	4	5	8	3	10	3	6	6	3	5	4	4	4	1	4	5	1	3	7	4	7	4	6	109		
		計	10	13	9	9	9	13	5	15	7	11	11	7	8	8	8	4	7	9	2	4	11	7	4	6	197			
合 計		10	13	9	9	9	13	5	15	7	11	11	7	8	8	8	4	7	9	2	4	11	7	4	6	197				

力 保健医療学部職員数 (単位:人)

所 属	看護学科			理学療法学科		作業療法学科		計
	看護学第一	看護学第二	看護学第三	理学療法学第一	理学療法学第二	作業療法学第一	作業療法学第二	
職 種								
教育職	教 准 授	1	2	3	1	3	3	19
	講 師	3	4	5	2	1	2	17
	助 手	2	5	1	1	3	1	12
	教 師	2	2			1		5
合 計		12	15	9	5	8	7	63

キ 医療人育成センター職員数 (単位:人)

所 属	入 試・高 大 連 携 部 門	教養教育研究部門								教 育 開 発 研 究 部 門	統 合 I R 部 門	計	
		学 科 目 (教 養 教 育 科 目)											
		哲 学 ・ 倫 理 学	心 理 学	法 学 ・ 社 会 学	英 語	英 語	運 動 学	物 理 学	化 学				生 物 学
職 種													
教育職	教 准 授	2	1	1	2	2		1	1	1	2	1	4
	講 師	1	1					1	1	1			12
	助 手	1						1					4
	教 師												1
合 計		3	1	2	2	2		2	2	2	2	1	21
一般職	研 究 補 助 員			1									1
合 計		3	1	3	2	2		2	2	2	2	1	22

ク 専攻科職員数

所 属	公 衆 衛 生 看 護 学 専 攻	助 産 学 専 攻	計
職 種			
教育職	教 准 授		
	講 師		
	助 手		
合 計			

ケ 附属病院職員数 (単位:人)

所 属	附 属 病 院																計								
	病 院 課	医 事 経 営 管 理 部	薬 剤 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	集 中 治 療 部	医 療 安 全 部	感 染 制 御 部	看 護 部	臨 床 工 学 部	医 療 連 携 福 祉 セ ン タ ー		栄 養 管 理 セ ン タ ー	臨 床 研 修 セ ン タ ー	看 護 キ ャ リ ア 支 援 セ ン タ ー	産 科 周 産 期 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科	歯 科 口 腔 外 科
職 種																									
一般職	局 長 ・ 次 長 等	1																							1
	課 長 等	3																							8
	一 般 事 務 職 員	23	4																						45
	精 神 保 健 福 祉 士																						2		2
	技 術 員																								2
	能 力 補 助 員																								1
	薬 剤 補 助 員																								2
	看 護 助 手													2											2
合 計		27	19			2	1							2		8							2		61
医療職	臨 床 検 査 技 師																				1				53
	薬 剤 技 師			54	47	5																			55
	診 療 放 射 線 技 師										1														50
	理 学 療 法 士																								17
	作 業 療 法 士																								6
	言 語 聴 覚 訓 練 士																								5
	臨 床 工 学 技 士														20										20
	歯 科 衛 生 士																								4
	歯 科 技 術 士																								2
	視 能 養 成 士																				1				1
合 計				54	47	5	50			26					20		7			1	1	2		6	220
看護職	看 護 師		2																						741
	助 産 師										2	1	726	34		6			4						34
合 計			2								2	1	760	6		6			4						775

コ 事務局職員数 (単位:人)

所 属		事 務 局						
		局 長 ・ 次 長 等	総 務 課	管 理 財 課	経 営 企 画 課	学 務 課	研 究 支 援 課	計
職 種								
一 般 職	局長・次長等	2						2
	課長等・副課長等		3	5	3	4	3	18
	一般事務職員		18	10	14	22	13	77
	技師			11		1		12
	研究補助員							
	ポイラー技師							
合 計		2	21	26	17	27	16	109

※ 兼務の職員を除く。

(8) 主な研究題目

ア 医学部

学 科 目 (基 礎 医 学 部 門)	先端医療知財学	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 再生医療における細胞や組織の知的財産 手術・治療方法の知的財産 革新的技術の有効な特許保護 2 医学研究分野における産学連携システムの構築 3 臨床試験データの財産的活用 4 再生医療技術開発における共通基盤確立に向けた研究
	遺伝医学	<ol style="list-style-type: none"> 1 人類遺伝学および細胞遺伝学に関する研究 2 染色体異常や多因子遺伝病の背景と遺伝診断、遺伝カウンセリングに関する研究 3 遺伝性腫瘍の診断と治療に関する研究 4 先天奇形症候群の診断と治療に関する研究 5 診断不確定の稀少疾患の遺伝学的診断に関する研究 6 がんゲノム医療に関する研究 7 遺伝医療に関連する倫理的・法的・社会的問題に関する研究 8 遺伝学、遺伝医学についての社会啓発に関する研究
学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	産科周産期科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 子宮頸癌の子宮温存術後の妊娠と子宮内感染予防の研究 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	医療薬学	<ol style="list-style-type: none"> 1 分子標的抗がん剤の適正使用に関する臨床薬理研究 2 免疫チェックポイント阻害剤の適正使用に関する臨床薬理研究 3 薬物体内動態と薬効の個人差に関する基礎研究 4 ゲノム情報を活用した精密医療の開発研究 5 医薬品の医療経済的評価に関する調査研究
	病理診断学	<ol style="list-style-type: none"> 1 骨軟部腫瘍の腫瘍発生および悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の開発・導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度および予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	放射線診断学	<ol style="list-style-type: none"> 1 PETやMRI情報に基づく悪性度評価・治療効果予測 2 画像データの再現性検証 3 画像診断検査における画像の適正化 4 SPECTのSUV解析に基づく病態予測 5 心筋血流SPECTを用いた心機能解析の信頼性の検証
	病院管理学	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学病院を中心とした病院経営指標の確立とこれに基づく適性人的および経済的資源配置の研究 2 多施設ベンチマークデータ集積による医療効率と疾患傾向の策定に関する研究 3 病院情報の集積と教育手段としての有効な二次利用法の方策の研究 4 医療効率よりの病・病（診）連携のありかたと多施設検討のための集積と分析ソフトウェア開発 5 医療プロセス分析による多職種作業分担の研究 6 ICTを利用した卒前・卒後の医学教育と診療支援

学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	集中治療医学	<ol style="list-style-type: none"> 1 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理ならびに治療に関する研究 2 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 3 重症患者における急性血液浄化療法に関する基礎的、臨床的研究 4 重症急性呼吸不全に関する分子生物学的研究 5 高度侵襲および敗血症における消化管機能ならびに栄養に関する臨床的研究
	呼吸器外科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 肺癌術後の残存肺における気腫性変化の研究 2 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 3 胸部疾患に対する胸腔鏡及びロボット支援による手術適応拡大の研究 4 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究 5 肺癌における癌遺伝子に関する研究
	血液内科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 造血幹細胞の細胞周期およびDNA修復機構破綻による遺伝子変異と癌化の解明 2 血液・腫瘍幹細胞および間質細胞による腫瘍形成と薬剤耐性機構の解析 3 多発性骨髄腫のバイオインフォマティクスを用いたデータ集積および解析法 4 移植・腫瘍免疫を制御する分子機構からみた造血幹細胞ソースの選択法の解明 5 クリニカルシーケンスデータからみた悪性リンパ腫の薬剤耐性遺伝子群の解析 6 ゲノム編集および細胞リプログラミング法を用いた血液腫瘍幹細胞の解析
	免疫・リウマチ内科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 関節リウマチの早期診断・治療に関する研究 2 全身性強皮症の早期診断・治療に関する研究 3 IgG4関連疾患の病因・病態の解明と新規治療法の開発 4 ステロイド性骨壊死の予防法に関する研究 5 膠原病診療における生物学的製剤の有効活用に関する研究 6 全身性エリテマトーデスの病因・病態の解明と新規治療法の開発
	医療統計・データ管理学	<ol style="list-style-type: none"> 1 レセプトデータベースを用いたビッグデータ解析 2 診療ガイドライン作成支援と論文の評価 3 文献検索結果の統合と分析 4 システムティックレビューの方法論と実践 5 データマネジメントと統計解析結果の検討
講 座 (基 礎 医 学 部 門)	解剖学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 神経細胞の特性の解析 2 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルと細胞接着装置の機能解析 3 神経細胞における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 4 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析 5 ITをフル活用したホームヘルスケアシステムに関する研究
	解剖学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 再生医学と変性疾患の解明のための幹細胞研究 2 骨髄間葉系幹細胞を用いた糖尿病合併症および慢性疾患の治療 3 骨髄間葉系幹細胞を用いたアルツハイマー型認知症の治療 4 刺激豊かな環境が認知症の学習記憶障害へ及ぼす影響の解析 5 細胞老化に伴う組織の再生と変性メカニズムの探索
	細胞生理学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 心拍動開始時期における心臓の機能的変化の検討 2 成長に伴うイオンチャネルの遺伝子発現量および電流量変化に関する研究 3 チャネル電流に作用する新たな分子の同定・機能解析 4 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究

講 座 (基 礎 医 学 部 門)	神経科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海馬シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医化学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 糖鎖によるシグナル制御機構 2 糖鎖の定量的構造解析の開発 3 肺サーファクタントタンパク質の生理活性解析 4 肺破骨様細胞を標的とした肺線維症の新規治療戦略 5 炎症性肺疾患におけるRANKLの作用の解明 6 サルコイドーシスの病態解析
	分子生物学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 癌のエピジェネティクス (DNAメチル化とヒストン修飾) 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌における非コードRNAの異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析 7 腫瘍微小環境の解析
	病理学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 腫瘍免疫分子機構、ヒトがんワクチン開発 2 がん幹細胞の免疫分子生物学 3 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 4 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 5 抗原処理提示の分子機構 6 細胞ストレス応答機構 7 白血病、悪性リンパ腫の分子遺伝学 8 遺伝子診断と分子病理診断
	病理学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 さまざまな臓器や組織におけるタイト結合に関する研究 2 生体バリアを担うタイト結合の機能・分子病理学 3 がんにおけるタイト結合の機能異常の理解 4 細胞接着の観点から理解する細胞の極性形成機構の解明 5 タイト結合の機能失調に起因する“タイト結合病”の理解とその機能制御による疾患治療法の開発 6 星細胞を起点として理解する多彩な病態と新しい治療戦略の創出 7 プロテオミクス技術を用いた新規バイオマーカーの探索と疾患治療への応用 8 遺伝子組み換え動物を用いた疾患モデルの作製
	微生物学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 病原体関連分子パターン (PAMPs) の構造、生物活性、抗原性 2 微生物感染による自然免疫情報伝達系の攪乱 3 抗菌薬耐性菌の耐性機構及び分子疫学 4 新しい作用機序に基づく抗菌薬の探索 5 抗菌薬が有する抗菌活性以外の薬理作用 6 微生物感染における分子シャペロンの役割
	薬理学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 老化の解明、特に長寿遺伝子産物サーチュインの機能の解明
	衛生学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 下痢症ウイルスの分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学

講座 (基礎医学部門)	公衆衛生学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 3 障害児の運動機能の変化に関する研究 4 職場におけるストレスと精神的健康度に関する予防医学的、疫学的研究 5 地域住民や学童に対する予防教育介入研究 6 情報伝達方法に関する研究
	法医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種病態における死後画像診断基準の策定 2 死後画像を用いた個人識別法の開発 3 薬物乱用に至るメカニズムの検討
講座 (臨床医学部門)	消化器内科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 免疫制御機構からみた消化器疾患の病態解明 2 iPS細胞 / オルガノイドを駆使した消化管疾患の病態解明 3 腸炎関連大腸癌の発生機序の解明 4 遺伝性大腸癌の診断と治療 5 消化器癌の個別化医療とバイオマーカーの開発 6 腸内フローラと発癌の病態解明 7 臨床検体を用いたゲノム・エピゲノム解析とその臨床応用 8 潰瘍性大腸炎粘膜治癒の定量的判定を目指した内視鏡画像解析装置の新規開発 9 MEFV遺伝子関連腸炎の診断法の確立 10 サイトメガロウイルスに対する免疫応答判定法の新規開発 11 炎症性腸疾患の病態解明と治療法確立に向けた北海道多施設共同後ろ向きコホート研究 12 炎症性腸疾患患者におけるCOVID-19感染に関する多施設共同研究 13 肝胆膵領域における新しい画像診断と遺伝子診断の開発 14 B型肝炎およびC型肝炎の拾い上げ効果の検討 15 肝硬変におけるサルコペニアと予後 16 肝細胞癌に対する分子標的治療薬の治療効果予測および耐性機序の解明 17 胆道癌の微小環境の病態解明 18 消化器がんにおけるCardio-Oncology 19 脂肪性肝疾患から肝がんへの進展に関する病態解明 20 自己免疫性膵炎に対するEUS-FNAによる診断能に関する検討
	循環器・腎臓・代謝 内分泌内科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病性心血管合併症の病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法に関する多施設共同登録研究 4 虚血性心疾患のカテーテル治療に関する基礎的・臨床的研究 5 心筋細胞死（ネクロシス、アポトーシス、ネクロプトーシス）の機序に関する基礎的研究 6 慢性心不全の進行に寄与する心筋代謝障害とその制御シグナルの解明 7 急性心不全の治療に関する臨床的研究 8 肺高血圧症の病態と治療に関する研究 9 心房細動の成因・病態に関する臨床的研究 10 不整脈の侵襲的治療法に関する臨床的研究 11 急性腎障害の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 12 腎生検に関する多施設共同登録研究 13 腎不全の病態におけるオートファジーの役割に関する基礎的・臨床的研究 14 心臓リハビリテーションの効果を規定する因子の解析と治療への応用

講座 (臨床 医学 部門)	呼吸器・アレルギー内科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺癌の診断、病態、予後因子、治療に関する研究 3 気管支喘息の診断、病態、治療に関する研究 4 過敏性肺炎、職業病性肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 5 各種呼吸器感染症、結核の診断、病態、治療に関する研究 6 慢性閉塞性肺疾患、閉塞性細気管支炎の診断、病態、治療に関する研究 7 難治性呼吸器疾患、稀少肺疾患の原因探索と新規治療法の研究 8 環境要因と呼吸器疾患の関わりについての研究 9 肺自然免疫と呼吸器疾患の関わりについての研究 10 胸部画像診断技術の複合的応用に関する研究 11 新規医療技術の呼吸器疾患診断への応用に関する研究
	腫瘍内科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 食道癌に対する新規化学療法の開発 2 胃癌に対する新規化学療法の開発 3 大腸癌に対する新規化学療法の開発 4 膵癌に対する新規化学療法の開発 5 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 6 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 7 肝細胞癌に対する動注化学療法の開発 8 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 9 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 10 悪性骨軟部腫瘍に対する新規治療法の開発
	神経内科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症におけるニューロン死の機序の解明、細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRTファミリーの機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの保護・再髄鞘化に関する研究 8 神経変性疾患関連遺伝子の検索 9 脳卒中及び認知症の医療と福祉に関わる多職種の前卒後教育システムの開発 10 北海道における老年医療と看護、介護における広域連携システムの構築 11 脳卒中医療における超音波診断法の開発と人材育成

- 1 IOT実用化に関するリアルタイム映像配信と相互システムの開発
- 2 膵癌切除症例における早期再発に関する surrogate marker の探索的研究
- 3 尾側膵切除での膵実質切断における膵断端処理の多施設共同前向き観察研究
- 4 術中インドシアノグリーン蛍光診断法を用いた肝切除術の確立
- 5 胆道再建を伴う肝葉切除以上を要する症例における残肝予備能評価法の妥当性に関する多施設共同観察研究
- 6 胃perfusion-CT による膵頭十二指腸切除術後、胃排泄遅延（delayed gastric emptying, DGE）の解析
- 7 肝胆膵領域における新規低侵襲手術術式の開発に向けた臨床研究
- 8 膵切除標本から確立された正常ヒト膵管上皮細胞モデルと膵癌細胞株を用いた in vitro の機能解析
- 9 肝胆膵がんのゲノム異常モニタリングと患者アウトカムに関連する観察研究
- 10 乳癌腫瘍浸潤リンパ球が認識する抗原分子の解明
- 11 転移再発乳がんにおける経時的な癌免疫応答の推移について
- 12 免疫関連遺伝子から見た乳がん微小環境内の腫瘍関連マクロファージの動態について
- 13 トリプルネガティブ乳癌におけるER01-Laをターゲットとする免疫複合療法の開発
- 14 術前化学療法施行症例における乳房造影超音波検査の有用性
- 15 遺伝性乳がんに対する多診療科と連携した治療体制の確立
- 16 肥満外科手術に関する臨床研究
- 17 胃癌手術におけるロボット手術の有用性に関する臨床研究
- 18 胸腔鏡下食道手術における低侵襲性に関する臨床研究
- 19 胃・食道癌手術時のICG蛍光法による血流評価に関する臨床研究
- 20 胃癌の浸潤性獲得に関する基礎研究
- 21 周術期栄養状態と生体侵襲との関連についての臨床研究
- 22 腹腔鏡下胃手術の定型化と教育法に関する研究
- 23 高度進行胃・食道癌に対する抗癌剤治療後根治術の安全性・有用性に関する検討
- 24 StageII, III直腸がんに対する腹腔鏡手術におけるCRMとTME評価に関する前向きRegistry研究
- 25 吸収性組織補強材付自動縫合器を用いた直腸切除術の多施設共同前向き観察研究
- 26 進行直腸癌に対するロボット支援下直腸切除術の腫瘍学的妥当性に関する多施設共同、前向きregistry研究
- 27 血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStage II 及び低リスクStage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験
- 28 血中循環腫瘍DNA陽性の治療切除後結腸・直腸がん患者を対象としたFTD/TPI療法とプラセボとを比較する無作為化二重盲検第III相試験
- 29 腹腔鏡下直腸癌手術後の縫合不全予防に対する近赤外光観察を用いた腸管血流評価の有効性に関するランダム化比較試験
- 30 近赤外光を用いた大腸癌の局在およびドレナージリンパ流確認に関する有効性の研究
- 31 直腸がんに対する経肛門的低侵襲手術（TAMIS:Trans-anal Minimally Invasive Surgery）の安全性と有効性の検討
- 32 人工知能を用いた直腸癌MRI画像診断支援技術開発に関する研究
- 33 大腸がん幹細胞標的免疫療法の安全性と有効性の評価 -進行大腸がんを対象としたがん幹細胞標的免疫療法の多施設共同第1/2相臨床試験-
- 34 直腸がん術後の主観的排便QoL指標としての日本語版LARS score (jpLARSs) の評価に関する多施設共同前向き観察研究
- 35 根本的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究
- 36 切除可能結腸癌に対するロボット支援下結腸切除術の安全性に関する検討 -多施設共同、前向き、ヒストリカルコントロール、feasibility 研究-
- 37 直腸癌に対するロボット支援下手術に関する研究
- 38 腹腔鏡手術のポート刺入部の腹壁閉鎖時におけるVersaOne Fascial Closure システムを使用した前向き観察研究
- 39 MRIおよびctDNAを用いた複合評価による進行直腸癌の再発リスク診断に関する前向き観察研究
- 40 直腸癌・肛門癌に対する鏡視下腹会陰式直腸切除術2-team approachに関する前向き観察研究

講座 (臨床 医学 部門)	心臓血管 外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究 2 弁膜症に対する自己弁温存法術式確立の研究 3 解離性大動脈瘤に対する病変部からみた手術及び追隔成績の検討 4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究 5 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究 6 心臓疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究 7 心筋・血管・心臓弁に対する再生法の研究 8 慢性B型大動脈解離に対する血管内治療法に関する研究 9 冠動脈バイパス手術における全動脈グラフトの組織学および流体力学的研究 10 胸腹部大動脈瘤に対する血管内治療(ステントグラフト内挿術)についての研究 11 胸部大動脈瘤術後の虚血性脊髄障害に対する間葉系幹細胞を用いた治療法の開発 12 楕円フーリエ解析法を用いて急性大動脈解離発症後の偽腔形態解析と拡大予測の検討 13 冠動脈疾患を有する患者における内胸動脈および冠動脈の血管周囲脂肪組織の性質の違いに関する研究
	整形外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 骨髄間葉系幹細胞を用いた脊髄再生研究 2 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫ワクチン療法の開発 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 脊椎疾患に関する定量的画像診断の研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する電気生理学的研究 6 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 7 骨量に影響を及ぼす諸因子の研究 8 脊椎低侵襲手術の開発 9 各種関節鏡視下手術の開発 10 3D鋳型を用いた手術手技の開発 11 新しい人工膝関節置換術の適切な手技の開発 12 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 13 スポーツ障害と外傷の予防と治療 14 骨軟部腫瘍における再発・予後因子に関する研究
	脳神経外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPIを用いたfunctional MRIなどの新しい画像診断システムの開発 3 グリオーマの免疫療法の研究 4 血管内手術の基礎的研究 5 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 6 覚醒下手術を用いた脳機能代償機構の研究 7 てんかんの病態・治療の研究 8 CT/MRIのfusion画像を用いた手術支援システムの開発 9 手術訓練を目的とした頭蓋骨、脳、脳神経、硬膜模型の開発 10 腫瘍幹細胞に関する基礎研究 11 再発悪性神経膠腫に対する化学療法の研究 12 脳腫瘍に対する術中蛍光診断に関する研究 13 TractographyやfMRIを用いた覚醒下手術の検討 14 ステントを用いた脳動脈瘤治療の研究 15 もやもや病の画像診断に関する研究 16 脳血管障害手術の手術シミュレーションに関する研究

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	産婦人科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 子宮内膜症の分子生物学的検討 8 卵巣癌での薬剤耐性克服 9 婦人科癌細胞の運動能と転移能に関する研究
	小児科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 慢性腎炎・ネフローゼ症候群、溶血性尿毒症症候群の発生病態解明と腎再生促進因子の解明 2 急性・慢性腎障害後の腎線維化に対するMicroRNA-21阻害薬を用いた新規治療薬開発 3 急性・慢性腎障害に対する間葉系幹細胞を用いた新規治療法開発 4 急性脳炎・脳症、細菌性髄膜炎の発症機序解明と新規治療法開発 5 RSウイルス感染症に関する研究 6 ロタウイルス、ノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎に関する研究 7 パルボウイルスB19感染症に関する研究 8 レスベラトロールを用いた筋ジストロフィー症の治療研究 9 てんかんに対する長時間ビデオ脳波モニタリングの研究 10 てんかんに対する間葉系幹細胞を用いた新規治療法開発 11 胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究 12 造血幹細胞移植時のGVHDの診断と治療に関する研究 13 造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究
	眼科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 眼科領域におけるMRスペクトロスコーピー法の開発 5 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮膚科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 メラニン合成機構の生物学的・分子生物学的解析 2 メラノサイトに対する美白剤の安全性評価のための新規スクリーニング法の確立 3 1細胞遺伝子発現解析による皮膚がんの増殖及び免疫関連分子間の関係性の解明 4 皮膚がんの病勢モニタリングのためのリキッドバイオプシーの開発 5 免疫チェックポイント阻害薬による生体内免疫環境の変化に関する研究 6 遺伝性皮膚疾患の遺伝子解析 7 炎症性皮膚疾患におけるIL-9シグナルの役割に関する研究 8 炎症性皮膚疾患における濾胞性ヘルパーT細胞の役割に関する研究 9 皮膚老化ホルモンの作用とメカニズムの解明
	泌尿器科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 排尿障害の基礎的・臨床的研究 5 尿路感染症・性感染症の疫学的研究と臨床的研究 6 尿路再生・再建医学 7 男子性機能の基礎的・臨床的研究 8 男子不妊症の成因と治療の研究 9 腎移植・移植免疫 10 性別適合手術

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	耳鼻咽喉科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 高度感音難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍の病態・治療法に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究 10 内耳有毛細胞再生に関する研究
	神経精神医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 リエゾン精神医学、緩和医療学、精神腫瘍学の臨床研究 2 一般救急・精神科救急における自殺関連行動患者のケア・モデル開発研究 3 認知症の神経心理、精神病理および神経画像研究 4 性同一性障害・性別違和の臨床研究 5 地域精神保健研究 6 メンタルヘルス・リテラシー研究 7 自殺予防対策研究 8 職域・教育機関におけるメンタルヘルス・プロモーションに関する研究 9 精神疾患の病態に関する脳神経回路網の修復・再生機構の研究 10 神経幹細胞を用いた精神疾患の新たな治療法の開発研究 11 精神疾患のバイオマーカーに関する研究
	放射線医学講座	<p><IVR部門></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 末梢動脈瘤に対する経済効果を加味した新しい塞栓術の開発 2 胆道・膵疾患における造影超音波診断能の後方視的研究 3 物理的合併症回避につながる中心静脈安全穿刺に関する研究 <p><治療部門></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 3 悪性腫瘍に対するIVR及び化学・放射線併用療法の研究 4 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 5 DNA修復能測定による放射線治療の有害事象の予測に関する研究 6 高精度放射線治療に関する研究 7 画像誘導放射線治療に関する研究 8 放射線治療効果と腫瘍免疫に関する研究

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	麻 醉 科 学 講 座	<ol style="list-style-type: none"> 1 新規鎮静薬レミゾラムの覚醒下開頭術における有用性の検討 2 新規鎮静薬レミゾラムの胎盤移行性と乳汁移行性に関する検討 3 中心静脈カテーテルナビゲーションSherlock 3CGによる末梢中心静脈カテーテル (PICC) の上大静脈留置決めの正確性の検討 4 持続的カフ圧計測による術後咽頭痛への軽減効果 5 周術期モニタリングガイド下輸血療法確立を目的としたSonoclot®およびTEG®6s測定下による開心術の輸血療法 6 一体型カフ圧力表示計が付属したラリンジアルマスクLMA Protector™の有用性-LMA Supreme™との比較 7 抗血小板薬・DOACの使用及び中止時の抗血栓性を捉えるモニタリング化 8 各麻酔薬投与下でのLimb remote ischemic preconditioning とグレリンの分泌の検証 9 Limb remote ischemic preconditioning の心臓虚血再灌流障害に対する心保護効果とグレリンの関与の検証 10 低圧環境における心筋梗塞・再灌流障害に及ぼす影響と鎮静薬デクスメトミジンの保護効果の検討 11 全身麻酔・手術操作における腸内細菌叢の変化と術後せん妄の関連性の解明 12 組織ミトコンドリアに対する麻酔薬の作用機序解明 13 重症筋無力症での筋弛緩拮抗薬スガマデクスの安全性の検討 14 虚血再灌流障害に対するデクスメトミジンの心筋保護作用の解明 15 外傷性脳損傷に対する骨髄由来ミクログリアを介した新規治療戦略 16 子宮筋収縮に対する麻酔薬の影響と機序の解明 17 血管内皮グリコカリックスおよびアクアポリンをターゲットとした周術期浮腫予防法の開発 18 周術期体温管理の基礎的・臨床的検討 19 椎弓板ブロックと脊柱起立筋面ブロックの臨床的有用性の比較検討 20 高度BMI (Body Mass Index) を呈する患者の外科手術に対する吸入麻酔による全身麻酔後の覚醒への影響
	総合診療医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 Common diseases の診断とマネジメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究 6 生活習慣病に関する研究
	感 染 制 御 ・ 臨 床 検 査 医 学 講 座	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連感染に関する細菌の遺伝子型別法の応用 2 内分泌物質の高感度検出法の開発 3 医療関連感染に関するサーベイランス調査 4 血液培養検査の迅速検出に関する検討 5 心超音波検査による間質性肺疾患重症度予測に関する検討 6 尿臭の分析 7 尿の酸素飽和度・二酸化炭素飽和度に関する検討 8 グラム染色鏡陰性と培養の関連に関する検討 9 性ホルモンと心電図変化に関する検討 10 インフルエンザウイルス迅速検出法に関する検討 11 SARS-CoV-2検出法（新規核酸増幅法、抗原検出法、抗体測定法）の検討

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	救急医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の研究 2 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の研究 3 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 4 高度侵襲時の生体防御反応に関する研究 5 病院前救護体制に関する研究 6 航空機による救急搬送体制の研究 7 災害医療に関する研究 8 中毒薬理に関する研究
	口腔外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 口腔癌の免疫療法に関する研究 2 口腔癌に対する超選択的動注化学療法併用放射線治療の臨床病理学的研究 3 口腔癌の微小環境における浸潤・転移機序ならびに抗がん薬耐性獲得機序に関する研究 4 顎顔面形態と顎機能からみた顎変形症の診断と治療に関する研究 5 下顎水平埋伏智歯の画像診断と下歯槽神経麻痺を回避するための骨切り抜歯法に関する研究 6 口腔癌の予後因子、バイオマーカーに関する研究 7 口腔癌のゲノム解析と個別化医療に関する研究
	リハビリテーション 医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 最新の画像診断技術と病巣研究との融合から高次脳機能に迫る研究 2 三次元動作分析による治療効果判定に関する研究 3 慢性疼痛のメカニズム論に基づく薬物・運動療法に関する研究 4 高齢者の呼吸・嚥下の評価とリハビリテーションに関する研究 5 認知症における生活機能維持へのアプローチに関する研究 6 脳腫瘍手術例における高次脳機能と予後予測に関する研究
	形成外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 難治性皮膚潰瘍に対する再生医療を応用した治療法の開発 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 4 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 5 顔面組織再建法の開発 6 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究

医学部 附属 フ ロ ン テ ィ ア 医 学 研 究 所	細胞科学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 ヒト正常細胞を用いたヒト疾患の病態解明 2 ヒト正常細胞を用いた予防治療の基礎的研究 3 炎症・アレルギー・がんに共通に関与がみられる新規細胞間接着分子の同定 4 肥満によるがんの悪性化機構の解明 5 細胞表面における細胞骨格の役割と制御機構の解明 6 軸索ガイダンス分子の発現機能解析
	ゲノム医科学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 ヒトがんの発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の網羅的変異解析と個別化医療への応用 3 がんにおける細胞周期チェックポイント異常の解析 4 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立 5 次世代シーケンスによるがんゲノム解析
	組織再生学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 肝前駆細胞の増殖・分化・成熟化の機序の解明 2 肝幹・前駆細胞及び間葉系細胞移植による肝疾患治療のための基礎的研究 3 内在性肝前駆細胞の活性化機序の解明 4 肝臓の3次元的組織構造形成の制御機構についての研究 5 生体外における肝組織の再構築 6 肝臓の発生
	分子医学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 肺癌の分子病理学的研究 2 特発性肺線維症の発症・進展機構の解明 3 周皮細胞の細胞生物学的解析 4 正常末梢肺上皮幹細胞の細胞生物学的解析
	病態情報学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト臨床試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
	神経再生 医療学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
	免疫制御医学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 濾胞ヘルパーT細胞の分化、機能調節機構の研究 2 抗原特異的な抗体産生機構の研究 3 ヒト免疫病態におけるエピムノーム（上皮細胞と免疫細胞のクロストーク）の研究 4 ヒト免疫・アレルギー病態における機能性リンパ球サブセットの研究と臨床への応用 5 癌免疫療法の臨床効果、副作用予測のためのバイオマーカーの探索研究
動物実験施設部	<ul style="list-style-type: none"> 1 ブドウ球菌の宿主特異性に関する研究 2 ブドウ球菌のゲノム進化に関する研究 3 ブドウ球菌の薬剤耐性に関する研究 4 皮膚常在細菌叢と皮膚生理との関連 5 疾患と腸内細菌叢との関連 	

イ 保健医療学部

看護学 科	看護学第一講座	<p><基礎看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 4 病院環境における臭気の包括的評価に関する研究 5 看護技術の根拠と効果に関する研究 <p><成人看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 急性・重症患者看護とその教育に関する研究 2 成人看護学における学習評価に関する研究 3 慢性病患者・がん患者の病いに関する研究 <p><外科学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消化器、乳腺領域における手術療法に関する研究 2 癌の集学的治療に関する研究 3 患者の幸せを追求する研究 4 AIを利用した医療インフラの開発研究
	看護学第二講座	<p><助産・母性看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 助産師教育に関する研究 2 病院前周産期症例における救急隊と助産師の連携に関する研究 3 子育て支援に関する研究 4 リプロダクティブヘルスに関する研究 <p><地域・在宅看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健師活動の理論と実践に関する研究 2 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 3 地域母子保健に関する研究 4 在宅療養を支えるための医療・保健福祉の連携に関する研究 <p><公衆衛生学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会調査の手法、統計学的方法に関する研究 2 学習・教育方略とその評価に関する研究 3 医療専門職の専門性、専門職連携に関する研究
	看護学第三講座	<p><小児看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小児看護学とその教育に関する研究 2 小児を対象とした喫煙防止教育と評価に関する研究 3 先天性心疾患をもつ子どもの主体性に関する研究 4 幼児が医療の経験を通じて「がんばった」と実感できる看護ケアに関する研究 <p><老年看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者のせん妄の発症リスクや予防ケアに関する研究 2 急性期病院における認知症高齢者への看護に関する研究 3 地域における認知症予防・早期発見および生活援助に関する研究 4 軽症脳卒中患者の再発予防に関する研究 <p><精神看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害を抱える親と子どもへの看護に関する研究 2 保健医療福祉分野における“応援”に関する研究 3 摂食障害の方の回復に関する研究 <p><内科学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メタボリックシンドローム、生活習慣病に関する臨床疫学研究 2 動脈硬化進展に関する新規分子マーカーの検索 3 高血圧、糖尿病の病態生理に関する研究 4 自律神経と動脈硬化性疾患に関する研究

理学療法学科	理学療法学第一座 講	<ul style="list-style-type: none"> 1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 2 早産低出生体重児の精神運動発達の特徴に関する研究 3 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 4 脳卒中中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 5 ヒトの感覚運動機能に関する神経科学的研究 6 筋の高次制御に関する神経科学的研究 7 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明およびその治療法の開発 8 脳卒中後遺症者および高齢者の身体活動と転倒に関する研究
	理学療法学第二座 講	<ul style="list-style-type: none"> 1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 ヒト骨格形態の進化的研究 5 人類集団の移動と環境適応についての人類学的研究 6 四肢関節・靭帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 7 医用画像による運動器障害理学療法評価に関する研究 8 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究 9 身体運動時の骨格筋機能に関する研究 10 運動時の呼吸循環応答、及び内部障害に関する運動生理学的研究
作業療法学科	作業療法学第一座 講	<ul style="list-style-type: none"> 1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指・上肢・体幹の動作解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法および作業科学の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 末梢神経・筋疾患に対する作業療法の評価および治療効果に関する電気生理学的研究 7 運動器疾患に対する作業療法開発のための基礎研究 8 高次脳機能障害に対する作業療法の評価および治療介入効果に関する研究 9 内部障害に対する作業療法の研究
	作業療法学第二座 講	<ul style="list-style-type: none"> 1 発達障害の認知・心理学的特徴の解明および治療方法の確立 2 中枢神経系・精神機能の機構解明とその治療に関する研究 3 精神障害の認知特性と社会適応に関する研究 4 発達障害児における不器用さの評価および治療方法に関する研究 5 障害児・者の日常生活支援に関わる補装具の開発 6 社会的認知の臨床神経心理学的研究 7 認知症患者に対する地域支援方略に関する研究

ウ 医療人育成センター

入試・高大連携部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 受験倍率等の情報から得られるデータ解析による入学者選抜方法の妥当性と改善に関する研究 2 入試広報と高大連携推進に関する研究 3 入学者の入学時成績と入学後成績およびフォローアップの必要性に関する研究 	
教養教育研究部門	哲学・倫理学	<ul style="list-style-type: none"> 1 医学哲学・生命倫理学研究 2 多様な人間観・生命観・死生観についての哲学的研究 3 西洋哲学の古典研究
	心理学	<ul style="list-style-type: none"> 1 心理社会的ストレスの心理生理学および行動医学研究 2 心臓血管系血行力学及び自律神経調整機能無侵襲計測の開発と応用 3 血管健康マーカーの開発と応用 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法学・社会学	<ul style="list-style-type: none"> 1 生命医学研究と法をめぐる基礎的研究 2 医療における質・安全 3 医学・医療教育における医療人類学とその方法論 4 子どもの医療と意思決定
	英語	<ul style="list-style-type: none"> 1 英語教育 2 認知言語学・コーパス言語学、言語類型論からみた英語研究、応用言語学 3 日本学、日米比較文化論、ベッドサイドマナー
	物理学	<ul style="list-style-type: none"> 1 数理生物学 2 生体物理学 3 非線形・非定常時系列データの解析および解析方法の構築 4 北海道全市区町村における二次医療圏外受診動向の調査 5 植物・動物由来の揮発性成分のがん細胞増殖抑制に関する研究
	化学	<ul style="list-style-type: none"> 1 微生物に対する自然免疫と生体防御応答 2 宿主および環境因子の感知による細菌の毒性制御と感染調節 3 抗菌ペプチドおよび食細胞の機能制御法の開発 4 異所性に発現する肺コレクチンの機能
	生物学	<ul style="list-style-type: none"> 1 ゲノム医療を目指した基礎的研究 2 種々の腫瘍におけるがん関連遺伝子の同定と機能解析 3 ライブセルイメージングによる免疫シナプス構築過程におけるシグナル分子動態解析 4 がん幹細胞の細胞生物学的特徴の研究 5 微小管アセチル化酵素の細胞生物学的研究 6 エキノコッカスの免疫ターゲットに関する研究
数学・情報科学	<ul style="list-style-type: none"> 1 数理モデリング 2 反応時間課題を利用した注意機能の評価と訓練システムの開発と臨床応用 3 Mixed Reality 技術を利用した日常生活支援システムの開発 4 外科術後のQOL値を明らかにする患者からの申告記録とフィードバックシステムの構築と実装研究 	
教育開発研究部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 多職種連携教育の評価方法の研究 2 医学教育評価の方法に関する研究 3 地域滞在型医療実習の評価方法に関する研究 4 地域医療人材確保に関する調査研究 5 プロフェッショナルリズム教育の評価に関する研究 	
統合IR部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 学修成果と教育成果の把握ならびに可視化のためのデータ収集およびデータ分析 2 上記を行うにあたり、適したデータベース構造の検討・研究 3 学長、医学部・保健医療学部執行部、教育に関する各種委員会による諮問事項に関する調査・分析 4 地域定着と医学教育の在り方に関する研究 	

エ 寄附講座

<p>生体工学・運動器 治療開発講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 骨切り術における三次元画像シミュレーション 2 人工関節における生体工学的研究 3 手術アプローチの開発と安全性の検証 4 人工関節インプラントデザインの検証と開発 5 バランスの良い人工関節置換のための軟部組織解離の検討 6 特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術における臨床成績 7 特発性大腿骨頭壊死症における動物モデルの確立 8 若手整形外科医の教育 9 人工関節における金属合併症の解決策の試み
<p>アイン・ニトリ緩和 医療学推進講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療に関する研究 2 緩和医療に携わる医療者の人材育成に関する研究 3 がん患者・家族の全人的な苦痛・苦悩へのアプローチに関する研究 4 がん患者包括的アセスメントの必要性和コ・ワーカーとしての業務創出 5 地域への啓蒙と知識の還元（公開講座，学習会，セミナー開催）
<p>再生治療推進講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 治験薬製造の効率化に係る技術開発 2 品質検査の確立 3 実用化のための製造方法検討 4 原料と製品の搬送条件検討及び搬送器具の開発 5 製品の安定性評価
<p>北海道病院前・航空・災害医学講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 救命救急士の教育方法の研究 2 メディカルコントロールについての研究 3 医療用ヘリコプターの有効性と課題の研究 4 医療優先固定翼機の有効性と課題の研究 5 災害時医療チームの教育方法の研究 6 災害時医療体制の研究 7 高齢者救急の研究

(9) 文部科学省補助金活用事業 (GP 関連)

(令和2年10月1日現在)

平成29年度多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」養成プラン

(ア)事業名：人と医を紡ぐ北海道がん医療人養成プラン

(イ)年次：平成29年度～令和3年度

(ウ)概要：本プログラムでは、北海道内の4つの医療系大学（札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学）が先進的に進めている遺伝医療、がんゲノム医療、遠隔医療、多職種連携診療の英知を結集し、道内の中核医療機関とも連携して、大学院生はもとより地域の医療機関で研修する医師やがん診療にかかわる医療従事者に高度な専門教育を提供し、地域横断的、専門職横断的、臓器（がん種）横断的な包括的がん医療を担う人材および次世代のがんゲノム治療を担う研究者を養成する。

○北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

(10) 国際交流

本学では、次の国際交流方針に基づき、6カ国・10の大学・団体と交流協定等を結び、積極的に学生交流・研究者交流を進めている。

【札幌医科大学 国際交流方針】

1 人材育成

グローバルな視野と国際感覚を有し、わが国および世界の医療と医学・保健医療学の発展に寄与する人材を育成する。

2 研究・医療の国際化

海外の大学・研究施設との交流・連携を通して、国際的に高く評価される医学・保健医療学研究と先進的医療の推進を図る。

3 国際貢献

本学の高度な医療技術や知識を活用し、海外の医療機関・医学教育機関との交流を通じて、世界の医療や医学・保健医療学のレベル向上に貢献する。

ア 国際医学交流

北方圏諸国やアジア諸国の医学教育機関との研究者の相互派遣を通じて学術交流を推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、学生が国際的な視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学への語学研修派遣を開始し、平成21年度からは中国医科大学との臨床実習を、平成23年度からは韓国カトリック大学との臨床実習を、相互交流として実施している。

さらに、平成31年には新たに韓国・高麗大学、米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校との間で学生交流協定等を締結し、また、ロシア・サンクトペテルブルク国立大学とは大学間交流の開始に向けた具体の協議を進めていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての交流事業を中止している。

(令和2年10月1日現在)

		フィンランド	カナダ	中国		米国		韓国	
協定等締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トゥルク、 オウル、東フィンランド、 タムペレ大学)	アルバータ 大学	中国医科 大学	佳木斯 大学	マサチューセツ 州立大学	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	韓国カトリック 大学	高麗大学
開始年度		1977	1983	1984	2008	1994	2019	2011	2019
現協定期間		2017. 5. 31 - 2022. 5. 30	2019. 6. 13 - 2024. 6. 12	2019. 4. 1 - 2024. 3. 31	2020. 4. 1 - 2023. 3. 31	2019. 9. 1 - 2022. 8. 31	2019. 7. 1 - 2020. 6. 30 (更新手続中)	2020. 5. 11 - 2021. 5. 10	2019. 3. 11 - 2024. 3. 10
研究者派遣	協定人数 (年間)	1名 (1～2箇月)	3名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)			
	派遣総数	42名	49名	46名	14名	28名			
研究者受入	協定人数 (年間)	1名 (1～2箇月)	3名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)			
	受入総数	42名	30名	48名	10名	9名			
その他協定の概要		・旅費については派遣大学、滞在費については受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は宿泊施設を手配)							
学生派遣 (直近10年)			【語学研修】 23年度 8名 24年度 8名 25年度 8名 26年度 12名 27年度 12名 28年度 12名 29年度 12名 30年度 12名 元年度 12名 2年度 中止	【臨床実習】 23年度 2名 24年度 中止 25年度 2名 26年度 2名 27年度 2名 28年度 2名 29年度 2名 30年度 2名 元年度 2名 2年度 中止			【臨床実習】 2年度 中止	【臨床実習】 23年度 2名 24年度 2名 25年度 2名 26年度 2名 27年度 2名 28年度 2名 29年度 2名 30年度 2名 元年度 2名 2年度 中止	【臨床実習】 2年度 中止

イ 訪問教授・訪問研究員の受入

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授又は訪問研究員として受け入れている（日本人、外国人の区別はない）。

この場合の費用は、本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしていることから、受入人数・期間等の制限はないが、受入講座等の事情により限度がある。

・外国からの受け入れ状況（直近10年）

平成22年度 5名 平成23年度 6名 平成24年度 3名 平成25年度 6名 平成26年度 3名
平成27年度 5名 平成28年度 5名 平成29年度 3名 平成30年度 9名 令和元年度 5名

ウ 教員在外研究等

(延べ人数)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	30年度	元年度		30年度	元年度		30年度	元年度
【アジア】			【オセアニア】			【ヨーロッパ】		
アラブ首長国連邦	0	2	オーストラリア	0	3	アイルランド	2	1
インド	4	0				イギリス	4	6
インドネシア	3	1	【北米】			イタリア	1	5
韓国	16	9	アメリカ合衆国	70	36	オーストリア	2	2
カンボジア	1	1	カナダ	3	8	オランダ	3	1
シンガポール	3	5	キューバ	0	0	スイス	0	1
タイ	4	2				スペイン	2	9
台湾	4	3	【中南米】			チェコ	0	1
中国	12	10	アルゼンチン	6	0	デンマーク	2	0
バングラデシュ	2	1				ドイツ	7	1
フィリピン	1	0	【アフリカ】			フィンランド	0	0
ベトナム	4	2	南アフリカ共和国	1	0	フランス	5	6
香港	1	0	エジプト	1	0	ポルトガル	0	3
マレーシア	2	0				ベルギー	2	0
ミャンマー	0	1				ギリシア	1	2
ラオス	0	1				ノルウェー	3	0
						スウェーデン	1	0
						ロシア	2	2
						合 計	175	125

エ 国際医学交流センター

国際交流を促進するための施設として、国際医学交流センターを設置している。

- ・会議室（1室）、研修室（2室）
- ・多目的ホール（2室）
- ・宿泊室（シングル3室、ツイン1室）

(11) 標本館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年、医療教育機関が増加したのに伴い、これらの学生生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日－昭和49年3月31日	三橋公平（解剖学第二講座教授）
昭和49年4月1日－昭和53年3月31日	八十島信之助（法医学講座教授）
昭和53年4月1日－昭和57年3月31日	菊地浩吉（病理学第一講座教授）
昭和57年4月1日－昭和61年3月31日	山崎英雄（生物学教授）
昭和61年4月1日－昭和63年3月31日	森道夫（病理学第二講座教授）
昭和63年4月1日－平成2年3月31日	百々幸雄（解剖学第二講座教授）
平成2年4月1日－平成7年3月31日	高橋杏三（解剖学第一講座教授）
平成7年4月1日－平成11年3月31日	森田匡彦（法医学講座教授）
平成11年4月1日－平成16年3月31日	佐藤昇志（病理学第一講座教授）
平成16年4月1日－平成18年3月31日	澤田典均（病理学第二講座教授）
平成18年4月1日－平成22年3月31日	辰巳治之（解剖学第一講座教授）
平成22年4月1日－平成25年3月31日	松本博志（法医学講座教授）
平成25年4月1日－平成28年3月31日	藤宮峯子（解剖学第二講座教授）
平成28年4月1日－平成30年3月31日	一宮慎吾（ <small>コソノ</small> 医学研究所 免疫制御医学部門教授）
平成30年4月1日－現在	松村博文（理学療法学科理学療法第二講座教授）

イ 概況

（令和2年10月1日現在）

資料分類		点数
肉眼標本	液浸標本 樹脂包埋標本 シリコン含浸標本 鋳型標本 乾燥標本 剥製標本	1,397
模型	人体解剖模型 化石人骨模型 ムラージュ 動物模型	171
光顕用スライド 投影用スライド 大切片標本	人体組織 病理組織 動物組織 胎児連続切片	42,127
医療機器・医療器具	手術器具・内視鏡・ペースメーカー・ 検眼鏡・顕微鏡の変遷他	538
視聴覚資料	ビデオ・DVD他	156
図書類	古医書・一般医学関係書 臨床X線写真診断学体系	1,074
他の医学関係資料	パネル・写真・薬袋 大学関係資料他	730
合計		46,193

ウ 利用状況

（令和元年度 単位：人）

利用の内訳	標本見学	視聴覚学習	自習コーナー （顕微鏡・情報機器）
学内者	357	0	85
学外者	2,459	1,594	141
計	2,816	1,594	226

（総入館者数：2,824人）

2 学 事 事 項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
昭和25年度	69	44	1.57										
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											
昭和33年度		59		951	66	14.41							昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和35年度				995	68	14.63							
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							昭和34年度で北大への委託を修了した
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							
昭和54年度							483	100	4.83				昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				
昭和62年度							729	105	6.94				
昭和63年度							655	100	6.55				
平成元年度							536	103	5.20				昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
平成2年度							589	100	5.89				平成2年度から大学入試センター試験実施
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	平成5年度に保健医療学部が設置された
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	平成9年度から入学者
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	選抜の方法が分離分割
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	方式となり、受験機会
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	が複数化された
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							689	100	6.89	450	99	4.55	
平成19年度							713	101	7.06	342	99	3.45	
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							532	110	4.84	348	93	3.74	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	
平成23年度							576	110	5.24	188	90	2.09	
平成24年度							565	110	5.14	249	90	2.77	
平成25年度							591	110	5.37	199	90	2.21	
平成26年度							565	110	5.14	181	90	2.01	
平成27年度							544	110	4.95	174	90	1.93	
平成28年度							343	110	3.12	201	90	2.23	
平成29年度							456	110	4.15	181	91	1.99	
平成30年度							458	110	4.16	167	90	1.86	
令和元年度							384	110	3.49	204	90	2.27	
令和2年度							412	110	3.75	153	90	1.70	

イ 定員及び現員数

(令和2年5月1日現在 単位：人)

学部	学年	入学定員	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計		
			現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員		
医学部	医学科	110	114 (31)	120 (37)	115 (41)	106 (33)	109 (33)	106 (36)									670 (211)
保健医療学部	看護学科	50	51 (48)	49 (47)	50 (47)	52 (47)									202 (189)		
	編入学生数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)		
	計		51 (48)	49 (47)	50 (47)	52 (47)									202 (189)		
	理学療法学科	20	21 (9)	20 (10)	20 (8)	21 (10)									82 (37)		
	編入学生数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)		
	計		21 (9)	20 (10)	20 (8)	21 (10)									82 (37)		
	作業療法学科	20	20 (17)	20 (13)	21 (13)	19 (14)									80 (57)		
	編入学生数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)		
	計		20 (17)	20 (13)	21 (13)	19 (14)									80 (57)		
	編入学生総計	90	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)		
小計	90	92 (74)	89 (70)	91 (68)	92 (71)									364 (283)			
学部合計		200	206 (105)	209 (107)	206 (109)	198 (104)	109 (33)	106 (36)									1,034 (494)
医学研究科	博士課程	50	37 (6)	47 (11)	33 (8)	69 (11)	0	0	0	0							186 (36)
	地域医療人間総合医学	18	10 (1)	20 (4)	14 (3)	25 (3)									69 (11)		
	分子・器官制御医学	20	16 (2)	18 (5)	12 (4)	33 (7)									79 (18)		
	情報伝達制御医学	12	11 (3)	9 (2)	7 (1)	11 (1)									38 (7)		
	修士課程	10	5 (4)	4 (2)									9 (6)				
	医科学	10	5 (4)	4 (2)									9 (6)				
	小計	60	42 (10)	51 (13)	33 (8)	69 (11)	0 (0)	0 (0)							195 (42)		
保健医療科学研究科	看護学	博士課程前期	12	7 (4)	16 (13)	()									23 (17)		
	博士課程後期	2	2 (2)	0 (0)	1 (1)									3 (3)			
	理学療法学	博士課程前期	12	10 (2)	12 (3)	()									22 (5)		
	作業療法学	博士課程後期	6	3 (0)	8 (3)	6 (1)									17 (4)		
	小計	32	22 (8)	36 (19)	7 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							65 (29)		
大学院合計		92	64 (18)	87 (32)	40 (10)	69 (11)	0 (0)	0 (0)									260 (71)
専攻科	公衆衛生看護学専攻	15	14 (14)											14 (14)			
	助産学専攻	20	17 (17)											17 (17)			
専攻科合計		35	31 (31)											31 (31)			
総合計		327	301 (154)	296 (139)	246 (119)	267 (115)	109 (33)	106 (36)									1,325 (579)

※ () 内は女子学生数(内数)

ウ 出身地別現員数

(令和2年5月1日現在)

課程	学年	出身地	1年			2年			3年			4年		
			道内	道外	小計									
医学部	人		98	16	114	105	15	120	97	18	115	83	23	106
	%		86.0	14.0	100.0	87.5	12.5	100.0	84.3	15.7	100.0	78.3	21.7	100.0
保健医療学部	人		86	6	92	87	2	89	90	1	91	90	2	92
	%		93.5	6.5	100.0	97.8	2.2	100.0	98.9	1.1	100.0	97.8	2.2	100.0
医学研究科	人		33	9	42	45	6	51	30	3	33	56	13	69
	%		78.6	21.4	100.0	88.2	11.8	100.0	90.9	9.1	100.0	81.2	18.8	100.0
保健医療研究科	人		19	3	22	35	1	36	6	1	7			
	%		86.4	13.6	100.0	97.2	2.8	100.0	85.7	14.3	100.0			
専攻科	人		23	7	30									
	%		76.7	23.3	100.0									
計	人		259	41	300	272	24	296	223	23	246	229	38	267
	%		86.3	13.7	100.0	91.9	8.1	100.0	90.7	9.3	100.0	85.8	14.2	100.0

課程	学年	出身地	5年			6年			道内計	道外計	合計
			道内	道外	小計	道内	道外	小計			
医学部	人		90	19	109	84	22	106	557	113	670
	%		82.6	17.4	100.0	79.2	20.8	100.0	83.1	16.9	100.0
保健医療学部	人								353	11	364
	%								97.0	3.0	100.0
医学研究科	人								164	31	195
	%								84.1	15.9	100.0
保健医療研究科	人								60	5	65
	%								92.3	7.7	100.0
専攻科	人								23	7	30
	%								76.7	23.3	100.0
計	人		90	19	109	84	22	106	1,157	167	1,324
	%		82.6	17.4	100.0	79.2	20.8	100.0	87.4	12.6	100.0

(2) 年次別卒業者数

ア 医学部

(単位：人)

卒業年次	卒業生	出身地		卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外
昭和 29 年 (第 1 回)	36	22	14	平成 6 年 (第 41 回)	99	79	20
昭和 30 年 (第 2 回)	41	35	6	平成 7 年 (第 42 回)	91	70	21
昭和 31 年 (第 3 回)	47	41	6	平成 8 年 (第 43 回)	100	74	26
昭和 32 年 (第 4 回)	66	58	8	平成 9 年 (第 44 回)	101	74	27
昭和 33 年 (第 5 回)	69	60	9	平成 10 年 (第 45 回)	100	66	34
昭和 34 年 (第 6 回)	58	49	9	平成 11 年 (第 46 回)	102	80	22
昭和 35 年 (第 7 回)	67	54	13	平成 12 年 (第 47 回)	100	58	42
昭和 36 年 (第 8 回)	62	54	8	平成 13 年 (第 48 回)	109	60	49
昭和 37 年 (第 9 回)	59	35	24	平成 14 年 (第 49 回)	99	58	41
昭和 38 年 (第 10 回)	59	32	27	平成 15 年 (第 50 回)	94	62	32
昭和 39 年 (第 11 回)	63	54	9	平成 16 年 (第 51 回)	101	74	27
昭和 40 年 (第 12 回)	65	58	7	平成 17 年 (第 52 回)	103	72	31
昭和 41 年 (第 13 回)	66	54	12	平成 18 年 (第 53 回)	95	60	35
昭和 42 年 (第 14 回)	62	58	4	平成 19 年 (第 54 回)	103	67	36
昭和 43 年 (第 15 回)	62	58	4	平成 20 年 (第 55 回)	103	73	30
昭和 44 年 (第 16 回)	80	71	9	平成 21 年 (第 56 回)	100	62	38
昭和 45 年 (第 17 回)	74	63	11	平成 22 年 (第 57 回)	97	75	22
昭和 46 年 (第 18 回)	78	63	15	平成 23 年 (第 58 回)	101	76	25
昭和 47 年 (第 19 回)	73	60	13	平成 24 年 (第 59 回)	100	75	25
昭和 48 年 (第 20 回)	69	55	14	平成 25 年 (第 60 回)	98	69	29
昭和 49 年 (第 21 回)	84	74	10	平成 26 年 (第 61 回)	103	74	29
昭和 50 年 (第 22 回)	77	57	20	平成 27 年 (第 62 回)	104	72	32
昭和 51 年 (第 23 回)	65	54	11	平成 28 年 (第 63 回)	99	63	36
昭和 52 年 (第 24 回)	80	62	18	平成 29 年 (第 64 回)	118	80	38
昭和 53 年 (第 25 回)	92	74	18	平成 30 年 (第 65 回)	109	63	46
昭和 54 年 (第 26 回)	90	81	9	令和 元 年 (第 66 回)	100	63	37
昭和 55 年 (第 27 回)	94	84	10	令和 2 年 (第 67 回)	116	83	33
昭和 56 年 (第 28 回)	95	81	14				
昭和 57 年 (第 29 回)	95	84	11				
昭和 58 年 (第 30 回)	107	96	11				
昭和 59 年 (第 31 回)	99	87	12				
昭和 60 年 (第 32 回)	94	90	4				
昭和 61 年 (第 33 回)	97	90	7				
昭和 62 年 (第 34 回)	86	75	11				
昭和 63 年 (第 35 回)	89	79	10				
平成 元 年 (第 36 回)	116	96	20				
平成 2 年 (第 37 回)	92	79	13				
平成 3 年 (第 38 回)	101	85	16				
平成 4 年 (第 39 回)	99	84	15				
平成 5 年 (第 40 回)	107	87	20				
合 計					5,860	4,515	1,345

イ 保健医療学部

(単位：人)

卒業年次	区分 看護学科 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道内	道外
平成9年(第1回)	48	21	19	88	76	12
	(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成10年(第2回)	51	25	22	98	72	26
	(8)	(1)	(0)	(9)	(6)	(3)
平成11年(第3回)	61	21	20	102	71	31
	(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成12年(第4回)	54	23	23	100	78	22
	(9)	(2)	(2)	(13)	(9)	(4)
平成13年(第5回)	58	22	24	104	79	25
	(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成14年(第6回)	54	24	21	99	76	23
	(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)
平成15年(第7回)	57	27	24	108	93	15
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成16年(第8回)	53	23	21	97	83	14
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成17年(第9回)	52	21	23	96	83	13
	(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成18年(第10回)	49	30	21	100	85	15
	(4)	(1)	(2)	(7)	(5)	(2)
平成19年(第11回)	56	23	23	102	91	11
	(1)	(1)	(0)	(2)	(2)	(0)
平成20年(第12回)	49	22	21	92	82	10
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成21年(第13回)	52	18	19	89	84	5
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成22年(第14回)	55	23	22	100	89	11
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成23年(第15回)	52	21	23	96	93	3
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成24年(第16回)	50	21	21	92	86	6
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成25年(第17回)	49	18	20	87	80	7
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成26年(第18回)	47	20	22	89	87	2
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成27年(第19回)	48	19	19	86	82	4
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成28年(第20回)	50	21	17	88	85	3
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成29年(第21回)	49	18	20	87	82	5
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成30年(第22回)	49	17	20	87	84	2
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
令和元年(第23回)	50	20	20	90	88	2
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
令和2年(第24回)	48	19	21	88	85	3
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合計	(52) 1,241	(21) 517	(16) 487	(94) 2,265	(77) 1,994	(17) 270

※1 出身地は学位記記載の本籍地による ※2 ()内は編入学生数(内数)

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 98回 (平成 16年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99回 (平成 17年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第100回 (平成 18年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第101回 (平成 19年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第102回 (平成 20年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第103回 (平成 21年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第104回 (平成 22年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1
第105回 (平成 23年)	101	101	98	97.0	3	2	66.7	104	100	96.2
第106回 (平成 24年)	100	100	92	92.0	7	5	71.4	107	97	90.7
第107回 (平成 25年)	98	98	92	93.9	10	8	80.0	108	100	92.6
第108回 (平成 26年)	103	103	102	99.0	8	4	50.0	111	106	95.5
第109回 (平成 27年)	104	104	102	98.1	4	1	25.0	108	103	95.4
第110回 (平成 28年)	99	99	96	97.0	5	4	80.0	104	100	96.2
第111回 (平成 29年)	118	117	107	91.5	4	4	100.0	121	111	91.7
第112回 (平成 30年)	109	109	102	93.6	10	9	90.0	119	111	93.3
第113回 (令和元年)	100	100	98	98.0	9	6	66.7	109	104	95.4
第114回 (令和2年)	116	116	109	94.0	5	2	40.0	121	111	91.7

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 93回 (平成 16年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94回 (平成 17年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 95回 (平成 18年)	45	45	45	100.0	0	0	-	45	45	100.0
第 96回 (平成 19年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 97回 (平成 20年)	49	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 98回 (平成 21年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 99回 (平成 22年)	55	55	55	100.0	0	0	-	55	55	100.0
第100回 (平成 23年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第101回 (平成 24年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第102回 (平成 25年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第103回 (平成 26年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第104回 (平成 27年)	48	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第105回 (平成 28年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第106回 (平成 29年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第107回 (平成 30年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第108回 (令和元年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第109回 (令和2年)	48	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 90回 (平成 16年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91回 (平成 17年)	52	50	46	92.0	0	0	-	50	46	92.0
第 92回 (平成 18年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93回 (平成 19年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94回 (平成 20年)	49	47	46	97.9	0	0	-	47	46	97.9
第 95回 (平成 21年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第 96回 (平成 22年)	55	55	54	98.2	0	0	-	55	54	98.2
第 97回 (平成 23年)	52	51	50	98.0	0	0	-	51	50	98.0
第 98回 (平成 24年)	50	50	49	98.0	2	1	50.0	52	50	96.2
第 99回 (平成 25年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第100回 (平成 26年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第101回 (平成 27年)	48	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第102回 (平成 28年)	12	12	12	100.0	0	0	-	12	12	100.0
第103回 (平成 29年)	9	9	9	100.0	0	0	-	9	9	100.0
第104回 (平成 30年)	11	11	10	90.9	0	0	-	11	10	90.9
第105回 (令和元年)	10	10	10	100.0	0	0	-	10	10	100.0
第106回 (令和2年)	10	10	10	100.0	0	0	-	10	10	100.0

工 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回 (平成16年)	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回 (平成17年)	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第41回 (平成18年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第42回 (平成19年)	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第43回 (平成20年)	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第44回 (平成21年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第45回 (平成22年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第46回 (平成23年)	21	21	20	95.2	0	0	-	21	20	95.2
第47回 (平成24年)	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回 (平成25年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第49回 (平成26年)	20	20	19	95.0	0	0	-	20	19	95.0
第50回 (平成27年)	19	19	19	100.0	1	0	0.0	20	19	95.0
第51回 (平成28年)	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第52回 (平成29年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第53回 (平成30年)	17	17	17	100.0	0	0	-	17	17	100.0
第54回 (令和元年)	20	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第55回 (令和2年)	19	19	19	100.0	1	1	100.0	20	20	100.0

才 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回 (平成16年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回 (平成17年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第41回 (平成18年)	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第42回 (平成19年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第43回 (平成20年)	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第44回 (平成21年)	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第45回 (平成22年)	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8
第46回 (平成23年)	23	23	22	95.7	1	0	0.0	24	22	91.7
第47回 (平成24年)	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回 (平成25年)	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第49回 (平成26年)	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第50回 (平成27年)	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第51回 (平成28年)	17	17	16	94.1	0	0	-	17	16	94.1
第52回 (平成29年)	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第53回 (平成30年)	20	20	19	95.0	0	0	-	20	19	95.0
第54回 (令和元年)	20	20	20	100.0	1	1	-	21	21	100.0
第55回 (令和2年)	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5

力 助産師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第96回 (平成25年)	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第97回 (平成26年)	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第98回 (平成27年)	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第99回 (平成28年)	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第100回 (平成29年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第101回 (平成30年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第102回 (令和元年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第103回 (令和2年)	17	17	17	100.0	0	0	-	17	17	100.0

(4) 研究生数

(令和2年5月1日現在 単位：人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学門	解剖学第一			医学部臨床門	消化器内科学	11	8
	解剖学第二				循環器・腎臓・代謝内分泌内科学	28	14
	細胞生理学				呼吸器・アレルギー内科学	1	1
	神経科学				腫瘍内科学		
	化学				神経内科学	11	8
	分子生物学				消化器・総合・乳腺・内分泌外科学		
	病理学第一	4			心臓血管外科学		
	病理学第二	1			整形外科学		
	微生物学				脳神経外科学		
	薬理学				産婦人科学		
医学部	衛生学			小児科学	11	7	
	公衆衛生学	2		眼科学			
医学部基礎医学門	法医学			皮膚科学			
	医学部基礎医学部門計	7		泌尿器科学			
	医学部附属研究	細胞科学部門			耳鼻咽喉科学	2	
		ゲノム医科学部門			神経精神医学		
		組織再生学部門			放射線医学	1	
		分子医学部門			麻酔科学		
		病態情報学部門			地域医療総合医学	1	1
		神経再生医療学部門			感染制御・臨床検査医学		
		免疫制御医学部門			救急医学	1	1
		医学部附属フロンティア医学研究所	0	0	口腔外科学	5	4
医学部教育研究機器センター計	0	0	リハビリテーション医学				
医学部動物実験施設部計	0	0	形成外科学				
医学部基礎医学門	先端医療知財学			医学部臨床医学部門計	72	44	
	遺伝医学	0		医学部計	84	46	
	医学部学科学目(基礎医学部門)計	0	0	保健医療学部	看護学		
医学部臨床門	産科周産期科学				理学療法学		
	医療薬学				作業療法学		
	病理診断学	4			保健医療学部計	0	0
	放射線診断学	1			医療人育成センター計	0	0
	病院管理学				附属総合情報センター計	0	0
	集中治療医学				合計	84	46
	呼吸器外科学						
	血液内科学						
免疫・リウマチ内科学							
医学部学科学目(臨床医学部門)計	5	2					

(5) 修士及び博士（医学）の学位授与者数

区分 年度	専攻 学位	本学大学院修了者（博士課程）									一 般 論 文 提 出 者	合 計	
		医 学 系	生 理 系	病 理 系	社 会 医 学 系	内 科 系	外 科 系	合 地 域 医 療 人 間 学 総 学	医 分 子 ・ 器 官 制 御 学	情 報 医 学 達			計
昭和34年度～ 平成12年度			49	81	16	228	297				671	1,325	1,996
平成13年度			1			11	16				28	48	76
平成14年度			3	2		11	16				32	37	69
平成15年度				3		11	18				32	43	75
平成16年度						1	2	14	26	4	47	43	90
平成17年度								17	33	2	52	19	71
平成18年度						1		13	19	17	50	17	67
平成19年度								4	11	5	20	30	50
平成20年度								10	16	5	31	21	52
平成21年度	7							10	11	7	28	17	52
平成22年度	8							11	12	7	30	4	42
平成23年度	9							8	22	6	36	17	62
平成24年度	8							8	29	8	45	8	61
平成25年度	5							13	15	12	40	5	50
平成26年度	1							15	19	6	40	13	54
平成27年度	5							17	22	8	47	10	62
平成28年度	8							18	26	8	52	15	75
平成29年度	3							17	26	9	52	13	68
平成30年度	7							7	9	7	23	9	39
令和元年度	8							7	6	8	21	11	40
計		61	53	86	16	263	349	182	296	111	1,356	1,694	3,111

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数

区分 年度	専攻 学位	本学大学院修了者						提 一 般 出 論 者 文	合 計
		修 士 課 程			博 士 課 程				
		看護学	理学療法学・作業療法学	看護学	理学療法学・作業療法学	看護学	理学療法学・作業療法学		
平成11年度		9	6	3				0	18
平成12年度		6	4	3				0	13
平成13年度		4	5	5				0	14
平成14年度		8	8	3			1	3	23
平成15年度		6	2	3			2	1	14
平成16年度		6	6	7			1	1	21
平成17年度		7	7	4			4	1	23
平成18年度		5	7	3			2	4	21
平成19年度		7	9	3			3	2	24
平成20年度		8	3	7	2			1	21
平成21年度		4	7	3	0	1	3	0	18
平成22年度		3	8	6	1	3	3	0	24
平成23年度		4	8	3	1	2	1	1	20
平成24年度		5	8	3			3		19
平成25年度		3	8	3	1	4	3	0	22
平成26年度		9	7	1		2	1	1	21
平成27年度		6	11	0	1	1	3	0	22
平成28年度		2	5	3	0	3	1	0	14
平成29年度		6	8	3	1	0	0	1	19
平成30年度		6	6	7	2	6	2	0	29
令和元年度		5	4	2	2	2	2	0	17
計		119	137	75	11	40	32	3	417

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）竣工
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事竣工
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事竣工
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事竣工
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事竣工
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事竣工
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事竣工
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事竣工
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事竣工
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事竣工
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事竣工
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）竣工
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）竣工
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター指定
平成10年4月1日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センターを設置
平成14年10月1日	高度救命救急センターを設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	NICUを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行
平成21年4月1日	がん診療連携拠点病院指定
平成21年8月24日	肝疾患診療連携拠点病院指定
平成21年9月27日	「病院機能評価」認定
平成23年3月30日	地域周産期母子医療センター認定
平成23年4月1日	神経再生医療科を新設し、放射線科を放射線治療科及び放射線診断科に改正
平成24年9月1日	第二外科を心臓血管外科及び呼吸器外科に改正
平成25年4月1日	医療連携・総合相談センターを設置
平成25年11月1日	臨床遺伝外来を設置

平成26年4月1日	看護キャリア支援センターを設置
平成26年9月27日	「病院機能評価」認定
平成27年4月1日	医療連携・総合相談センター及び医事センターを再編し、医事相談センター、医療連携センター、栄養管理センターを設置 第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科に、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科に、第三内科を呼吸器・アレルギー内科に、第四内科を腫瘍・血液内科に、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更
平成29年3月30日	原子力災害拠点病院指定
平成29年4月1日	医事相談センターと医療連携センターを再編し、医療連携福祉センターを設置
平成30年4月1日	医療情報部、臨床研究支援センターを設置
平成30年8月1日	神経内科を脳神経内科に名称変更、遺伝子診療科を設置
令和2年3月25日	附属病院既存棟改修第1期工事竣工

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	—	昭和35年3月31日	瀧本庄蔵
昭和35年4月1日	—	昭和39年3月31日	南浦邦夫
昭和39年4月1日	—	昭和41年3月31日	高山坦三
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	末吉利三
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	浜谷松夫
昭和49年4月1日	—	昭和51年3月31日	立野誠吾
昭和51年4月1日	—	昭和53年3月31日	橋場輝芳
昭和53年4月1日	—	昭和55年2月8日	河邨文一郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年2月29日	(事務代理) 神村瑞夫
昭和55年3月1日	—	昭和57年3月31日	神村瑞夫
昭和57年4月1日	—	昭和61年2月8日	漆崎一朗
昭和61年2月9日	—	昭和61年2月28日	(事務代理) 熊本悦明
昭和61年3月1日	—	平成2年2月28日	小松作蔵
平成2年3月1日	—	平成4年2月8日	谷内昭
平成4年2月9日	—	平成4年2月29日	(事務取扱) 谷内昭
平成4年3月1日	—	平成8年2月29日	飯村攻
平成8年3月1日	—	平成10年2月28日	形浦昭克
平成10年3月1日	—	平成12年2月29日	千葉峻三
平成12年3月1日	—	平成14年2月28日	工藤隆一
平成14年3月1日	—	平成16年2月29日	並木昭義
平成16年3月1日	—	平成20年3月31日	島本和明
平成20年4月1日	—	平成24年3月31日	塚本泰司
平成24年4月1日	—	平成26年3月31日	平田公一
平成26年4月1日	—	平成30年3月31日	山下敏彦
平成30年4月1日	—	現 在	土橋和文

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	年度	外来部門			入院部門		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消化器・免疫・リウマチ内科※1		29,673	30,463	30,747	16,862	16,045	16,379
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1		35,351	35,195	34,621	16,759	15,769	14,452
呼吸器・アレルギー内科※1		14,917	14,958	15,678	13,897	14,457	14,737
腫瘍・血液内科※1		23,287	23,612	23,191	24,133	23,864	24,567
脳神経内科		9,614	9,523	9,801	10,894	10,005	9,882
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1		16,658	17,088	18,419	19,950	19,943	20,634
心臓血管外科		3,867	4,060	3,885	7,127	7,787	6,411
呼吸器外科		2,230	2,336	2,389	4,542	4,561	4,240
整形外科		30,643	30,083	32,339	18,797	16,563	17,849
脳神経外科		8,457	8,425	8,100	13,293	14,331	12,443
婦人科		20,834	19,740	19,348	15,239	14,758	16,254
産科周産期科		5,615	5,192	5,543	11,967	12,327	13,637
小児科		14,795	14,036	14,287	10,299	9,079	10,067
眼科		23,917	23,298	23,071	11,474	9,879	9,530
皮膚科		25,557	25,138	25,423	9,083	7,885	7,572
形成外科		7,397	7,998	8,677	7,212	7,061	7,399
泌尿器科		20,564	20,628	20,645	10,477	9,724	9,694
耳鼻咽喉科		24,525	23,926	22,202	11,306	10,530	10,120
神経精神科		20,349	20,518	18,973	10,365	9,277	8,375
放射線治療科		18,502	20,167	21,507	8,890	8,426	7,829
放射線診断科		3,061	3,820	3,784	0	0	0
麻酔科		7,127	5,883	4,826	760	532	265
総合診療科		6,464	5,114	2,528	0	0	0
歯科口腔外科		23,297	22,848	23,558	9,637	9,344	7,858
リハビリテーション科		48,536	44,410	46,712	5,083	33	0
神経再生医療科		281	212	152	235	1,054	917
臨床遺伝外来※2		364	441	276	—	—	—
高度救命救急センター		1,622	1,701	1,677	6,576	5,948	6,087
集中治療部(再掲)※3		0	0	0	1,693	1,505	1,606
計		418,037	412,779	412,683	274,857	259,182	257,198

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	年度	外来部門			入院部門		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消化器・免疫・リウマチ内科※1		121.6	124.8	128.1	46.2	44.0	44.8
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1		144.9	144.2	144.3	45.9	43.2	39.5
呼吸器・アレルギー内科※1		61.1	61.3	65.3	38.1	39.6	40.3
腫瘍・血液内科※1		95.4	96.8	96.6	66.1	65.4	67.1
脳神経内科		39.4	39.0	40.8	29.8	27.4	27.0
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1		68.3	70.0	76.7	54.7	54.6	56.4
心臓血管外科		15.8	16.6	16.2	19.5	21.3	17.5
呼吸器外科		9.1	9.6	10.0	12.4	12.5	11.6
整形外科		125.6	123.3	134.7	51.5	45.4	48.8
脳神経外科		34.7	34.5	33.8	36.4	39.3	34.0
婦人科		85.4	80.9	80.6	41.8	40.4	44.4
産科周産期科		23.0	21.3	23.1	32.8	33.8	37.3
小児科		60.6	57.5	59.5	28.2	24.9	27.5
眼科		98.0	95.5	96.1	31.4	27.1	26.0
皮膚科		104.7	103.0	105.9	24.9	21.6	20.7
形成外科		30.3	32.8	36.2	19.8	19.3	20.2
泌尿器科		84.3	84.5	86.0	28.7	26.6	26.5
耳鼻咽喉科		100.5	98.1	92.5	31.0	28.8	27.7
神経精神科		83.4	84.1	79.1	28.4	25.4	22.9
放射線治療科		75.8	82.7	89.6	24.4	23.1	21.4
放射線診断科		12.5	15.7	15.8	0.0	0.0	0.0
麻酔科		29.2	24.1	20.1	2.1	1.5	0.7
総合診療科		26.5	21.0	10.5	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科		95.5	93.6	98.2	26.4	25.6	21.5
リハビリテーション科		198.9	182.0	194.6	13.9	0.1	0.0
神経再生医療科		1.2	0.9	0.6	0.6	2.9	2.5
臨床遺伝外来※2		1.5	1.8	1.2	—	—	—
高度救命救急センター		6.6	7.0	7.0	18.0	16.3	16.6
集中治療部(再掲)※3		0.0	0.0	0.0	4.6	4.1	4.4
計		1,713.3	1,691.7	1,719.5	753.0	710.1	702.7

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区分	年度	平成 29 年度			平成 30 年度			令和 元 年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単純撮影	32,890	37,823	70,713	29,536	58,815	88,351	45,601	51,850	97,451
	断層撮影	0	0	0	0	0	0			0
	造影検査	2,868	794	3,662	3,052	607	3,659	3,035	643	3,678
	血管造影	2,400	117	2,517	2,813	85	2,898	2,216	84	2,300
	乳腺撮	101	2,560	2,661	41	2,463	2,504	134	2,688	2,822
	骨塩検査	441	1,598	2,039	593	1,722	2,315	577	1,649	2,226
	C T 検査	10,578	16,107	26,685	11,127	15,978	27,105	11,315	16,101	27,416
	M R 検査	4,058	9,516	13,574	4,627	9,509	14,136	4,912	10,121	15,033
	R I 検査	1,544	1,229	2,773	1,122	955	2,077	1,570	1,094	2,664
	P E T / C T	132	1,389	1,521	252	1,365	1,617	289	1,354	1,643
	画像出力	3,224	9,880	13,104	2,488	2,943	5,431	2,573	3,198	5,771
	放射線治療	10,721	5,850	16,571	11,189	6,619	17,808	11,548	7,461	19,009
合計	68,957	86,863	155,820	66,840	101,061	167,901	83,770	96,243	180,013	
画像出力枚数	半切	21	28	49	3	3	6	2	6	8
	B	0	0	0	1	0	1			0
	乳腺用	0	0	0	0	0	0			0
	C D / D V D	2,296	2,803	5,099	2,799	3,465	6,264	2,573	3,198	5,771
	合計	2,317	2,831	5,148	2,803	3,468	6,271	2,575	3,204	5,779

※ 平成17年5月から、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなった。
画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っている。

イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数

区分	年度	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度		
		件数	点数	件数	点数	件数	点数	
検査部	血液検査	511,836	17,529,113	511,410	17,099,459	535,241	18,443,555	
	緊急検査	(1,050,173)	(21,502,884)	(1,097,649)	(21,661,926)			
	尿検査	112,057	3,139,547	115,087	3,224,612	118,729	3,352,076	
	輸血検査	74,178	2,879,135	75,246	3,325,451	58,679	3,447,458	
	細菌検査	77,774	10,340,863	75,420	9,933,858	78,886	10,361,831	
	生化学検査	3,262,855	68,703,029	3,243,342	66,570,740	3,316,842	68,539,263	
	血清検査	119,734	16,367,555	126,129	17,315,539	124,447	17,361,228	
	遺伝子検査	447	1,156,176	459	1,110,363	461	1,275,745	
	生理機能検査	49,347	12,826,330	50,814	13,337,100	52,811	14,744,602	
	検体検査管理加算料	480,515	59,911,414	476,357	59,391,685	485,596	60,569,034	
	迅速検査管理加算料	281,196	2,811,960	292,158	2,921,580	292,311	2,923,110	
	健診協力	698		3,538		1,578		
	感染対策および研究協力等	1,090		551		336		
	検査部合計	4,971,727	195,665,122	4,970,511	194,230,387	5,065,917	201,017,902	
	病理部	病理検査	22,240	15,033,930	25,054	16,991,640	24,595	16,544,860
		病理診断料	9,787	5,995,660	11,735	7,307,810	11,594	7,201,190
		病理部合計	32,027	21,029,590	36,789	24,299,450	36,189	23,746,050
内視鏡検査	7,023	17,094,190	7,386	18,026,230				
総合計	5,010,777	233,788,902	5,014,686	236,556,067	5,102,106	224,763,952		

※ 平成26年度に尿検査係から生化学検査係に一部検査項目を移動

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数 (入院)

科別	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	11,228	24,777	174,719	10,885	24,615	172,914	10,499	23,556	154,978
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	15,524	46,688	371,104	15,160	44,128	361,259	14,648	41,232	321,140
呼吸器・アレルギー内科 ※1	10,185	19,373	135,197	10,891	21,011	154,245	11,780	22,748	165,986
腫瘍・血液内科 ※1	19,058	40,333	254,521	19,428	37,653	241,447	21,099	41,745	267,262
脳神経内科	5,706	13,551	113,041	5,245	11,822	89,047	5,606	12,159	90,032
消化器・総合、乳腺・内分泌外科 ※1	16,472	31,348	180,504	15,647	28,001	174,942	16,346	29,776	197,645
心臓血管外科	5,792	14,089	92,904	6,390	15,404	99,698	4,847	11,835	78,878
呼吸器外科	4,648	7,429	51,109	5,238	8,610	64,297	3,870	7,657	57,754
整形外科	9,796	18,876	122,571	8,583	17,074	119,027	10,336	20,037	125,672
脳神経外科	8,947	16,998	118,902	9,292	18,710	135,327	7,862	16,014	125,918
婦人科	10,999	17,636	129,057	10,233	16,187	121,507	11,075	17,814	123,161
産科周産期科	6,966	8,749	45,749	6,135	8,302	46,450	6,239	8,762	49,838
小児科	6,104	10,084	56,970	4,778	7,897	47,627	5,785	9,247	53,146
眼科	8,723	15,569	37,266	7,358	13,249	32,841	6,808	12,854	29,289
皮膚科	8,779	16,066	84,165	7,613	13,308	68,498	8,208	14,631	86,414
形成外科	3,071	5,278	20,409	2,836	4,316	15,819	2,822	5,056	19,048
泌尿器科	8,425	13,971	67,088	7,930	12,608	58,266	8,746	14,667	73,041
耳鼻咽喉科	9,267	16,496	96,017	8,099	14,823	85,661	8,557	15,488	89,424
神経精神科	8,576	19,883	150,952	8,469	19,209	152,519	7,926	19,086	137,208
麻酔科	504	1,159	12,360	342	783	9,947	183	389	6,131
総合診療科	210	723	5,815	22	54	464	0	0	0
神経再生医療科	170	527	3,665	379	1,018	6,638	362	780	5,004
放射線治療科	5,165	10,439	71,286	4,913	8,690	55,527	4,983	8,477	52,729
放射線診断科	3	3	19	21	30	64	12	15	56
歯科口腔外科	8,026	11,994	45,480	8,154	12,360	60,109	7,392	11,832	57,137
リハビリテーション科	2,321	6,269	47,541	39	100	922	550	1,240	8,320
集中治療部	2,443	3,977	13,706	1,922	3,022	11,628	2,283	4,082	14,980
高度救命救急センター	6,487	9,696	37,914	5,371	7,978	30,824	5,060	7,932	31,120
感染制御部	-	-	-	-	-	-	8	8	26
計	203,595	401,981	2,540,031	191,373	370,962	2,417,514	193,892	379,119	2,421,337

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更

(イ) 年間調剤延数 (外来)

科別	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	963	6,119	207,096	1,011	6,075	197,126	900	4,997	184,609
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	1,600	9,232	327,886	1,507	8,269	295,598	1,521	8,452	314,203
呼吸器・アレルギー内科 ※1	485	1,943	49,917	508	2,058	57,149	519	2,190	59,949
腫瘍・血液内科 ※1	1,934	9,264	258,696	1,951	9,882	270,103	1,817	9,409	271,507
脳神経内科	173	734	28,313	234	838	32,269	312	917	33,104
消化器・総合、乳腺・内分泌外科 ※1	461	1,243	44,555	431	1,296	44,193	469	1,661	42,682
心臓血管外科	49	275	12,555	47	203	9,006	31	97	3,955
呼吸器外科	19	41	422	10	17	137	5	6	14
整形外科	1,441	3,711	98,674	1,321	3,679	101,207	1,437	4,072	110,389
脳神経外科	273	830	32,926	296	887	35,886	286	939	36,846
婦人科	486	887	12,811	488	963	16,559	407	793	12,760
産科周産期科	328	490	3,084	276	434	2,692	352	552	2,929
小児科	91	211	5,070	96	214	4,809	93	245	5,092
眼科	813	2,064	10,741	777	1,746	10,578	612	1,357	9,777
皮膚科	1,728	4,430	55,841	1,487	3,821	53,467	1,520	3,840	49,234
形成外科	182	380	6,316	255	500	6,633	213	395	7,085
泌尿器科	1,285	5,052	86,988	1,090	4,007	81,506	1,036	3,825	76,436
耳鼻咽喉科	471	1,301	29,974	411	1,164	30,692	388	1,001	26,126
神経精神科	1,157	4,713	113,509	1,003	3,696	104,530	1,017	3,673	104,319
麻酔科	528	2,864	77,288	474	2,610	73,542	358	2,118	57,913
総合診療科	52	197	4,062	21	40	962	9	16	414
神経再生医療科	0	0	0	7	8	230	5	5	450
放射線治療科	42	83	2,974	47	89	2,236	48	79	1,986
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	628	1,092	6,890	503	853	6,215	495	837	7,091
リハビリテーション科	982	4,207	106,950	827	3,442	95,467	708	3,014	86,061
臨床遺伝外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター	14	22	205	18	34	442	20	31	299
計	16,185	61,385	1,583,743	15,096	56,825	1,533,234	14,578	54,521	1,505,230

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更

(ウ) 年間入院注射処方せん延数

科別	平成 29 年 度			平成 30 年 度			令和 元 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	12,549	37,739	60,989	11,231	32,196	51,400	11,961	36,606	59,307
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	14,492	41,286	70,162	14,745	42,432	78,592	17,044	53,566	105,803
呼吸器・アレルギー内科 ※1	7,453	29,390	47,232	8,156	31,171	48,878	8,459	33,263	51,551
腫瘍・血液内科 ※1	23,491	64,494	149,941	25,519	73,873	159,960	26,712	73,701	185,994
脳神経内科	3,714	9,639	24,060	3,442	9,049	20,166	3,834	8,633	19,358
消化器・総合・乳腺・内分泌外科 ※1	18,589	44,979	85,935	19,352	46,281	91,530	19,887	47,483	94,673
心臓血管外科	6,313	19,351	37,628	6,398	17,845	31,598	4,540	13,975	25,949
呼吸器外科	2,163	5,575	7,694	3,047	7,991	12,529	2,416	6,928	10,729
整形外科	8,353	23,477	29,891	7,624	20,707	28,458	8,705	22,983	31,932
脳神経外科	7,677	19,251	38,091	8,530	21,531	40,705	7,977	20,038	37,965
婦人科	7,069	20,362	38,008	6,418	20,325	35,966	7,595	23,629	42,545
産科周産期科	5,939	12,582	26,286	5,583	11,570	26,569	5,362	13,007	26,524
小児科	11,465	52,429	92,828	9,489	43,796	73,707	9,958	44,164	72,494
眼科	3,207	5,395	6,501	2,725	4,323	5,982	2,190	3,820	4,585
皮膚科	4,800	10,227	16,468	3,797	8,161	14,012	3,806	8,725	16,517
形成外科	1,254	2,877	4,172	1,622	3,431	5,009	1,289	2,928	3,864
泌尿器科	5,666	15,003	24,491	5,898	16,205	25,888	5,789	16,639	35,190
耳鼻咽喉科	5,403	12,515	21,703	4,272	9,889	16,519	4,518	9,807	17,421
神経精神科	616	1,125	1,806	746	1,361	2,104	1,032	2,113	2,931
麻酔科	179	354	601	129	232	413	63	129	136
総合診療科	1	1	1	4	5	5	0	0	0
神経再生医療科	146	177	206	108	159	177	59	119	133
放射線治療科	2,612	6,456	9,654	2,350	5,776	9,235	2,348	6,001	9,611
放射線診断科	1	1	1	3	3	7	6	12	12
歯科口腔外科	5,223	10,536	18,071	5,458	11,987	19,973	4,395	9,988	15,784
リハビリテーション科	667	1,266	1,571	17	18	33	10	16	22
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	159,042	446,487	813,991	156,663	440,317	799,415	159,955	458,273	871,030

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

(エ) 年間院外処方延数

科別	平成 29 年 度			平成 30 年 度			令和 元 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	18,038	95,080	3,733,389	18,246	95,031	3,809,375	18,438	96,128	3,939,456
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	24,346	138,164	5,826,953	23,811	135,739	5,820,842	23,279	131,926	5,794,513
呼吸器・アレルギー内科 ※1	8,382	32,989	869,647	8,287	32,084	897,473	8,406	32,329	927,609
腫瘍・血液内科 ※1	12,341	51,152	1,834,307	12,146	50,914	1,840,907	12,159	48,973	1,814,059
脳神経内科	6,441	29,180	1,179,664	6,493	28,566	1,187,672	6,595	28,916	1,218,434
消化器・総合・乳腺・内分泌外科 ※1	7,354	20,771	880,180	7,697	21,114	923,183	8,444	22,623	956,084
心臓血管外科	1,774	8,764	376,520	1,881	9,458	417,986	1,767	8,191	382,065
呼吸器外科	471	997	31,196	523	1,148	39,037	446	1,084	38,041
整形外科	13,184	31,505	992,982	12,913	30,721	1,025,113	13,807	31,977	1,097,559
脳神経外科	3,704	11,471	576,219	3,695	10,818	602,066	3,508	9,802	565,369
婦人科	5,477	9,628	294,283	5,877	10,519	323,438	6,024	11,157	347,194
産科周産期科	1,156	1,663	23,343	1,144	1,774	25,296	1,045	1,482	24,983
小児科	6,656	18,679	526,810	6,389	17,408	504,728	6,344	17,403	508,200
眼科	12,613	29,309	163,667	11,976	25,105	153,763	11,630	24,696	140,594
皮膚科	14,770	42,315	641,520	14,845	40,941	673,363	14,792	40,851	692,055
形成外科	1,081	1,828	17,414	1,344	1,970	20,186	1,476	2,272	22,732
泌尿器科	7,117	14,558	657,112	7,134	14,887	662,303	7,083	14,975	657,380
耳鼻咽喉科	10,701	27,371	824,128	10,256	26,289	816,758	9,080	23,104	772,323
神経精神科	16,667	61,463	1,611,983	16,626	59,308	1,610,831	16,421	59,701	1,640,838
麻酔科	3,524	14,357	417,983	2,928	12,025	363,316	2,669	11,186	344,508
総合診療科	4,878	19,453	462,226	4,091	15,921	453,925	2,341	10,854	320,724
神経再生医療科	145	543	24,925	105	388	20,730	70	241	17,256
放射線治療科	1,345	2,849	94,363	1,456	2,832	86,892	1,348	2,488	76,236
放射線診断科	4	13	163	14	38	564	10	20	327
歯科口腔外科	4,165	6,507	58,650	4,520	6,962	67,958	4,949	7,820	74,471
リハビリテーション科	2,643	10,856	271,928	2,479	10,668	274,158	2,600	10,821	287,298
臨床遺伝外来	3	5	36	1	1	14	6	24	1,006
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター	79	244	4,481	70	207	3,142	61	177	2,959
計	189,059	681,714	22,396,072	186,947	662,836	22,625,019	184,798	651,221	22,664,273

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

エ 手術部手術件数

(単位：件)

科 別 \ 年 度	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度	令 和 元 年 度
消化器・免疫・リウマチ内科※1	1	3	0
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1	0	0	0
呼吸器・アレルギー内科※1	0	0	0
腫瘍・血液内科学※1	6	7	5
脳 神 経 内 科	0	0	0
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1	712	662	912
心 臓 血 管 外 科	315	340	293
呼 吸 器 外 科	309	325	312
整 形 外 科	1,046	1,012	1,094
脳 神 経 外 科	250	300	256
婦 人 科 ・ 産 科 周 産 期 科	876	881	908
小 児 科	4	9	13
眼 科	1,241	1,142	1,162
皮 膚 科	348	312	281
形 成 外 科	748	768	865
泌 尿 器 科	530	524	533
耳 鼻 咽 喉 科	474	523	612
神 経 精 神 科	101	82	62
放 射 線 治 療 科	0	0	0
放 射 線 診 断 科	0	0	0
麻 酔 科	8	4	5
総 合 診 療 科	0	0	0
歯 科 口 腔 外 科	503	488	524
リハビ、リテーション科	0	0	0
神 経 再 生 医 療 科	0	0	2
高度救命救急センター	139	121	159
集 中 治 療 部	0	0	0
合 計	7,611	7,503	7,998

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

(5) 分娩件数

区 分	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度	令 和 元 年 度
件 数	359	315	340

(6) 病床数 (令和2年10月1日現在)

① 病棟別病床数

病棟名	室数	床数	特等		一等(A)		一等(B)		一等(C)		準一等		一般		1床部屋	2床部屋	3床部屋	4床部屋	5床部屋	6床部屋	8床部屋	12床部屋	
			室数	床数	室数	床数	室数	床数	室数	床数	室数	床数	室数	床数									
11階北病棟 (循環器・腎臓・代謝内分泌内科・共用)	12	50							2	2	1	4	9	44	2	2		2		6			
11階南病棟 (呼吸器・アレルギー内科)	14	34					1	1				3	12	10	21	6	2		6				
10階北病棟 (腫瘍内科・血液内科・共用)	15	52	1	1										14	51	6	2				7		
10階南病棟 (脳神経外科・共用)	14	34												14	34	6	2		6				
9階北病棟 (皮膚科・形成外科・消内科・共用)	15	50							1	1				14	49	4	5				6		
9階南病棟 (消化器・総合・乳腺・内分泌外科)	16	41						1	1			3	12	12	28	3	7		6				
9階西病棟 (消化器内科)	12	30			3	3					3	12	6	15	6				6				
8階南病棟 (脳神経内科・消内科)	12	33					2	2			2	8	8	23	3	3			6				
8階西病棟 (泌尿器科)	23	60			3	3					3	12	17	45	9	4			7	3			
7階南病棟 (婦人科・共用)	13	45								2	2			11	43	5	1		2		5		
7階西病棟 (眼科・腫瘍内・血液内・共用)	16	40			8	8					4	16	4	16	8				8				
6階南病棟 (産科周産期・生殖内分泌科)	7	25							1	1				6	24	1	3				3		
6階西病棟 (産科周産期・生殖内分泌科)	2	24												2	24							2	
5階南病棟 (共用)	14	26												14	26	8		6					
5階西病棟 (小児科)	12	30												12	30	6			6				
4階北病棟 (神経精神科)	14	42												14	42	7	1			3	3		
4階南病棟 (耳鼻咽喉科・呼吸内・腫瘍内・血液内・共用)	14	49							1	1				13	48	3	5				6		
4階西病棟 (整形外科)	12	30			3	3								9	27	6			6				
3階中央病棟 (心臓血管外科・呼吸器外科・消乳外・共用)	11	45												11	45		3		1	7			
2階南病棟 (歯科口腔外科・免疫・リウマチ内科・整形外科・共用)	13	50								2	2			11	48	4	2				7		
1階南病棟 (放射線治療科・共用)	21	47								2	2			19	45	10	6				5		
高度救命救急センター	5	31												5	31						1	3	1
集中治療部	1	6												1	6							1	
合計	288	874	1	1	17	17	4	4	11	11	19	76	236	765	103	48	6	62	19	47	1	2	

※ 集中治療部門には人工透析室(6床)を設置している。

※ 58床休床

※ 等級別室料差額料金 特等:11,000円、一等(A):8,800円、一等(B):6,930円、一等(C):5,500円、準一等:2,200円

② 診療科等別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
消化器内科	42	呼吸器外科	9	形成外科	20	集中治療部	6
免疫・リウマチ内科	5	整形外科	48	泌尿器科	30	高度救命救急センター	31
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	50	脳神経外科	34	耳鼻咽喉科	31	合計	818
呼吸器・アレルギー内科	42	神経再生医療科	—	神経精神科	42		
腫瘍内科	52	婦人科	45	放射線治療科	47		
血液内科	20	産科周産期科	49	放射線診断科	—		
脳神経内科	27	小児科	30	麻酔科	—		
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	51	眼科	30	総合診療科	—		
心臓血管外科	26	皮膚科	24	歯科口腔外科	27		

※ 上記のほか共通床として56床がある。

※ 58床休床

③ 特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
R1病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	6
	集中治療部門	6
NICU	6階西病棟	12
GCU	6階西病棟	12

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

科 別	平成 29 年 度			平成 30 年 度			令 和 元 年 度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
消化器・免疫・リウマチ内科※1	1		1	2		2	1		1
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1	6	3	9	1	3	4	3	2	5
呼吸器・アレルギー内科※1	2		2		1	1	1	1	2
腫瘍・血液内科学※1	3		3	3	1	4	2	1	3
脳 神 経 内 科		1	1			0	2	1	3
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1			0		1	1	1		1
心 臓 血 管 外 科		1	1			0			0
呼 吸 器 外 科			0	1		1			0
整 形 外 科			0			0			0
脳 神 経 外 科			0			0			0
婦 人 科			0			0		1	1
産 科 周 産 期 科			0	1		1		2	2
小 児 科			0			0			0
眼 科			0			0			0
皮 膚 科		1	1			0			0
形 成 外 科			0			0			0
泌 尿 器 科			0	1		1	3		3
耳 鼻 咽 喉 科			0			0			0
神 経 精 神 科			0			0			0
放 射 線 治 療 科			0			0			0
放 射 線 診 断 科			0			0			0
麻 酔 科			0			0			0
総 合 診 療 科			0			0			0
歯 科 口 腔 外 科			0			0			0
リハビリテーション科			0			0			0
神 経 再 生 医 療 科			0			0			0
高度救命救急センター	1		1	2		2			0
集 中 治 療 部			0			0			0
院 外	2	3	5	4	2	6	1	2	3
計	15	9	24	15	8	23	14	10	24

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

(8) 医療相談状況 (令和元年度)

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	リウマチ・内科	消化器科	循環器科	アレルギー内科	呼吸器科	腫瘍・血液内科	乳腺・内分泌科	消化器科	心臓血管外科	呼吸器科	整形外科	脳神経外科	産科	婦人科	小児科	眼科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経科	麻酔科	歯科	口腔外科	リハビリテーション科	神経内科	形成外科	高度救命救急センター	総合診療科	神経再生医療科	放射線治療科	放射線診断科	その他	合計
入院		105	264	252	119	235	89	15	205	119	455	74	236	47	46	82	101	19	6	32	1	249	29	193	0	3	40	0	87	3,103				
外来		358	298	178	356	142	28	46	581	239	100	224	210	142	99	211	147	144	13	48	120	315	126	73	44	4	29	0	313	4,588				
その他		3	14	13	10	8	7	1	26	7	19	8	17	6	12	6	8	33	0	2	1	19	3	12	3	1	3	0	255	497				
合計		466	576	443	485	385	124	62	812	365	574	306	463	195	157	299	256	196	19	82	122	583	158	278	47	8	72	0	655	8,188				

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相談内容		件数(延べ)	構成比(%)	備考
公的 制度等 活用	自立支援	育成医療	256	1.8%
		更生医療	188	1.4%
		精神通院医療	68	0.5%
	養育	医療	316	2.3%
	生活	保護	399	2.9%
	小児	慢性	278	2.0%
	指定	難病	1,030	7.4%
	障害	手帳	1,011	7.3%
	介護	保険	528	3.8%
	労働	災害	32	0.2%
	健康	保険	1,165	8.4%
	特定	不妊治療	220	1.6%
年金	・手当等	272	2.0%	
その他		298	2.1%	
援助・ 対応	経済的	理由	177	1.3%
	心理的	支援	196	1.4%
	家族	問題	63	0.5%
	就職	・復職等	110	0.8%
	退院	・転院援助	114	0.8%
	在宅	ケア	79	0.6%
	受診	援助	231	1.7%
	院内	連絡調整	2,595	18.7%
	院外	連絡調整	982	7.1%
ご意見	・苦情	75	0.5%	
その他		1,456	10.4%	
心理判定・カウンセリング		822	5.9%	
肝疾患		915	6.6%	
計		13,876	100.0%	

ウ がん看護相談件数

(単位:件)

	新規	継続	合計
入院	28	268	296
外来	19	667	686
合計	47	935	982

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成29年度	18,848,349,776	5,597,268,275	24,445,618,051	77.1	22.9	100.0
平成30年度	19,022,067,626	5,934,072,939	24,956,140,565	76.2	23.8	100.0
令和元年度	20,150,717,512	6,483,688,335	26,634,405,847	75.7	24.3	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	入院	外来			
初診料	入院		9,069,097	8,940,100	9,224,115
	外来		68,762,162	68,849,804	70,546,024
再診料	外来		225,841,515	218,888,882	217,578,335
医学管理料等・在宅医療	入院		119,037,434	143,765,045	168,557,043
	外来		436,320,593	453,126,259	476,120,944
検査料	入院		286,096,328	286,041,214	311,211,359
	外来		1,258,043,691	1,291,006,238	1,316,951,895
画像診断料	入院		103,327,071	97,885,895	112,849,961
	外来		811,901,515	813,650,546	841,865,131
投薬料	入院		276,392,829	256,339,286	270,659,814
	外来		716,009,553	702,308,323	667,568,923
注射料	入院		725,596,425	779,010,067	1,308,254,228
	外来		1,511,908,192	1,698,771,813	2,191,472,014
処置料	入院		135,221,129	129,912,375	160,619,333
	外来		48,749,450	64,302,618	62,196,350
手術・麻酔	入院		5,938,072,173	6,189,487,324	6,384,815,836
	外来		109,571,928	128,682,405	131,304,048
その他	入院		570,160,221	606,613,328	643,505,218
	外来		410,159,676	494,486,051	508,084,671
入院料(出来高部分)	入院		2,409,343,924	2,127,453,956	2,371,788,915
入院料(DPC部分)	入院		7,795,297,370	7,902,621,410	7,891,830,980
室料差額	入院		42,649,960	84,703,800	113,039,870
食事	入院		438,085,815	409,293,826	404,360,840
計	入院		18,848,349,776	19,022,067,626	20,150,717,512
	外来		5,597,268,275	5,934,072,939	6,483,688,335

(10) 栄養管理サポート概況

ア NST介入件数（延べ数）

診療科	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消化器・免疫・リウマチ内科	173	127	322
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	280	182	218
呼吸器・アレルギー内科	21	15	42
腫瘍・血液内科	566	521	546
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	559	577	537
整形外科	81	84	121
脳神経外科	54	58	19
産科周産期科	1	3	11
婦人科	17	6	17
小児科	10	1	2
眼科	4	4	2
皮膚科	107	97	67
泌尿器科	3	19	40
耳鼻咽喉科	130	100	112
神経精神科	4	9	4
放射線治療科	12	11	76
麻酔科	0	0	0
歯科口腔外科	280	194	186
リハビリテーション科	53	0	0
脳神経内科	33	47	69
形成外科	19	37	6
高度救命救急センター	42	19	54
総合診療科	0	0	0
心臓血管外科	47	89	95
呼吸器外科	53	34	59
神経再生医療科	0	0	0
合計	2,549	2,234	2,605

※ 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科へ名称変更

※ 令和元年度に神経内科を脳神経内科へ名称変更

※ NST介入件数は、非加算件数を含む

イ 栄養指導件数

診療科	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
消化器・免疫・リウマチ内科	66	120	186	64	76	140	274	111	385
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	421	423	844	348	447	795	512	425	937
呼吸器・アレルギー内科	10	5	15	4	3	7	38	6	44
腫瘍・血液内科	268	37	305	313	40	353	428	60	488
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	400	157	557	421	140	561	1,018	187	1,205
心臓血管外科	139	26	165	201	32	233	308	28	336
呼吸器外科	73	8	81	162	8	170	231	5	236
整形外科	9	2	11	5	1	6	23	7	30
脳神経外科	7	9	16	8	7	15	5	1	6
産科周産期科	17	8	25	21	7	28	25	9	34
婦人科	14	8	22	21	2	23	347	7	354
小児科	15	53	68	11	22	33	21	31	52
眼科	17	3	20	10	2	12	37	1	38
皮膚科	25	5	30	19	3	22	35	4	39
泌尿器科	63	19	82	56	27	83	112	30	142
耳鼻咽喉科	3	24	27	3	8	11	45	16	61
神経精神科	18	23	41	43	32	75	16	38	54
麻酔科	2	0	2	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	22	2	24	10	0	10	8	7	15
リハビリテーション科	10	7	17	0	3	3	0	4	4
脳神経内科	20	18	38	21	23	44	28	6	34
形成外科	9	1	10	4	0	4	5	0	5
救急部	1	1	2	0	0	0	0	0	0
総合診療科	2	24	26	0	17	17	0	4	4
神経再生科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療科	5	0	5	1	0	1	16	5	21
合 計	1,636	983	2,619	1,746	900	2,646	3,532	992	4,524

※ 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内科内分泌外科へ名称変更

※ 令和元年度に神経内科を脳神経内科へ名称変更

※ 栄養指導件数は、非加算件数を含む

4 医学部附属フロンティア医学研究所

(1) 沿革

- 平成23年4月1日 医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置
- 医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更
- 平成24年3月31日 医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止
- 平成25年4月1日 分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更
- 平成25年8月1日 遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

- 平成23年4月1日－平成26年3月31日 黒木由夫
- 平成26年4月1日－平成30年3月31日 時野隆至
- 平成30年4月1日－現 在 小海康夫

(3) 歴代研究所副所長

- 平成23年4月1日－平成26年3月31日 澤田典均
- 平成26年4月1日－平成30年3月31日 三高俊広
- 平成30年4月1日－現 在 一宮慎吾

(4) 組織

研究所に細胞科学、ゲノム医科学、組織再生学、分子医学、病態情報学、神経再生医療学、免疫制御医学の7部門を置き、構成員は次のとおりである。

(令和2年10月1日現在)

部 門	教授	准教授	講師	助教	助手	臨床検査技師	衛生検査技師	技師	計
細胞科学部門	1	1	1					1	4
ゲノム医科学部門	1		1	1					3
組織再生学部門	1	1		1		1			4
分子医学部門		1		1	1				3
病態情報学部門	1			2					3
神経再生医療学部門	1	1		1					3
免疫制御医学部門	1		1						2
合 計	6	4	3	6	1	1	0	1	22

【附属フロンティア医学研究所とは】

札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所は、北海道における医療と道民の健康増進に貢献するために、先端医学研究を基盤として、トランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）を志向し、その成果を道民に還元することを目的としています。

5 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4月 1日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4月 1日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年 4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6月	分子機能解析部門に教員を配置
平成23年 4月 1日	医学部附属研究所の再編に伴い、教育研究機器センターも研究支援部門として、システム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、細胞プロセッシング施設の7部門と1施設に再編
平成24年 4月 1日	画像・映像支援部門を新設
平成30年 4月 1日	ラジオアイソトープ部門を教育研究棟へ移設

(2) 歴代施設部長及びセンター長

昭和44年 4月 1日－昭和45年 3月31日	小野江 為 則
昭和45年 4月 1日－昭和46年 8月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9月 1日－昭和50年 3月31日	田 中 護
昭和50年 4月 1日－昭和54年 3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4月 1日－昭和58年 3月31日	林 喬 義
昭和58年 4月 1日－昭和61年 3月31日	藪 英 世
昭和61年 4月 1日－平成 2年 3月31日	秋 野 豊 明
平成 2年 4月 1日－平成 6年 3月31日	森 道 夫
平成 6年 4月 1日－平成10年 3月31日	加 納 英 雄
平成10年 4月 1日－平成12年 3月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4月 1日－平成16年 3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4月 1日－平成20年 3月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4月 1日－平成22年 3月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4月 1日－平成26年 3月31日	藤 宮 峯 子
平成26年 4月 1日－平成28年 3月31日	小 林 宣 道
平成28年 4月 1日－平成30年 3月31日	加 藤 淳 二
平成30年 4月 1日－現 在	當 瀬 規 嗣

(3) 組織

センターはシステム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、画像・映像支援部門の8部門からなり、構成員は以下のとおりである。

(令和2年10月1日現在)

部 門	部 門 長			臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技師	その他職員	計
	教授	准教授	講師						
システム管理部門	1※						1※		2
形態解析部門			1※	2					3
電子顕微鏡部門		1※				2			3
蛋白質解析部門	1※						1※		2
遺伝子解析部門	1※						1※		2
細胞バンク部門			1※				2		3
ラジオアイソトープ部門	1※				4			1	6
画像・映像支援部門	1※						2	1	4
合計	5※	1※	2※	2	4	2	7	2	25

※ 兼務

6 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）
平成20年1月	札幌医科大学動物実験規程施行

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日－昭和59年3月31日	浦澤正三
昭和59年4月1日－昭和63年3月31日	森道夫
昭和63年4月1日－平成4年3月31日	藪英世
平成4年4月1日－平成8年3月31日	大鹿英世
平成8年4月1日－平成10年3月31日	新津洋司郎
平成10年4月1日－平成14年3月31日	今井浩三
平成14年4月1日－平成17年3月31日	青木藩
平成17年4月1日－平成19年3月31日	加納英雄
平成19年4月1日－平成22年3月31日	澤田典均
平成22年4月1日－平成26年3月31日	堀尾嘉幸
平成26年4月1日－平成28年3月31日	高橋弘毅
平成28年4月1日－令和2年3月31日	藤宮峯子
令和2年4月1日－現	在 一宮慎吾

(3) 組織

(令和2年10月1日現在)

部長	副部長	主査	獣医師	動物飼育員	業務委託	庶務	計
1※	1	1	1	2	9	1	16

※ 兼務

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
 動物実験施設管理運営委員会
 感染防止委員会実験動物部会
 札幌医科大学動物実験規程
 札幌医科大学医学部動物実験施設管理運営規程
 札幌医科大学医学部動物実験施設使用細則

(5) 事業の概要 (令和元年度)

ア 施設利用者数 延べ 12,220名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	購入数	1日平均飼育匹数
ラット	4,764	1,266
遺伝子改変ラット	127 (内数)	271(内数)
マウス	2,609	4,424
遺伝子改変マウス	122 (内数)	3,364(内数)
スキッドマウス	108	184(内数)
ヌードマウス	85	21(内数)
モルモット	8	0
ウサギ	0	0
ネコ	0	0
ブタ	0	0
サル	0	0
ウニ	0	0
イヌ	0	0
ハムスター	0	0

ウ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ	イヌ
受入頭数	4,769	2,787	8	0	0	0
発病頭数	0	0	0	0	0	0
死亡頭数	0	17	0	0	0	0
剖検検査頭数	57	66	0	0	0	0
抗体検査頭数	56	64	-	-	-	0
培養検査頭数	56	64	0	0	0	0

7 附属総合情報センター

(1) 沿革

昭和25年4月	旧女子医学専門学校校舎の一室で図書館業務を開始
昭和31年7月	附属図書館新築落成
平成11年4月	附属情報センター設置
平成11年6月	現在の基礎医学研究棟で附属図書館開館
平成18年4月	附属図書館と附属情報センターを統合した「附属総合情報センター」を新たに設置。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。
平成19年4月	特別開館時間の拡大（24時間開館）

(2) センター長

平成18年4月1日－平成22年3月31日	佐藤昇志
平成22年4月1日－平成26年3月31日	當瀬規嗣
平成26年4月1日－平成30年3月31日	氷見徹夫
平成30年4月1日－現	在 長 峯 隆

(3) 組織

(令和2年10月1日現在)

区分	教員	事務職員	司書	計
センター長	1※			1※
副センター長		1		1
企画開発室長(副センター長)	1※			1※
企画開発室	1※			1※
主任司書			欠	0
総務・システム係		4		4
図書係		1	5	6
計	3※	6	5	14(内数3※)

※兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
情報処理教育用の機器及びソフトウェア等を整備し、医学医療情報の検索及び学生・研究者相互の情報交換が行えるネットワーク環境を提供することで、学生の基礎的な情報処理能力及び医学医療情報に対する利活用能力の育成を図る。	医学部教育用機器（130台）、保健医療学部教育用機器（57台）及びサーバー機器一式	基礎医学研究棟5階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟1階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
医学の高度化に対応したデータベース検索システム等を提供することで、研究活動に必要な情報の効率的な利活用環境を提供し、研究活動への支援体制の充実を図る。	学術論文評価システム等	基礎医学研究棟 5 階

ウ 地域医療支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
地域に貢献する高度な大学・医療機関として、各種の医療機関ネットワークとの相互接続を推進する等の取組を通じ、離島やへき地をはじめ地域医療に携わる医療従事者への最新の医学医療情報の提供及び診療診断サポート等のサービスを提供することで、医療の地域格差解消への貢献を図る。	TV会議システム	基礎医学研究棟 2 階事務室

エ 図書館システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
本学所蔵資料の検索及び電子ジャーナル閲覧等のサービスを提供することで教育研究活動の支援、卒後アフター及び地域医療支援を図る。 (令和2年度学外利用者登録数 2,201名)	図書雑誌管理システム、論文管理システム *平成12年5月 日本医学図書館協会賞受賞	基礎医学研究棟 5 階

オ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
情報センターが整備する上記4システムその他のシステムのための共通の情報通信基盤として、全学を網羅した高速かつ安定的な学内ネットワーク環境を提供することで、学内外とのスムーズな情報交換を促進し、教育研究活動の一層の活性化を図る。	Web及び電子メールシステム一式、管理・認証等用システム一式、情報セキュリティ対策用システム一式、学内用各種システム一式、バックアップシステム一式、その他関連システム及び機器等一式	基礎医学研究棟 5 階

(図書館部門)

ア 組織・施設概要

項目	内容
延面積	4,140 m ²
閲覧席	299 席
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
A V (視聴覚) 端末	6 台
貸出用ノートパソコン	12 台
有料セルフコピー・プリンター (コイン式)	5 台

イ 蔵書

(令和2年3月31日現在)

項目		冊数
蔵書	図書	90,840冊
	製本雑誌	131,870冊
	計	222,710冊

項目		冊数
学術雑誌	和雑誌	3,387タイトル
	洋雑誌	3,102タイトル
	計	6,489タイトル
電子ジャーナル		7,328タイトル

ウ 入館者数内訳 (令和元年度)

(単位:人)

	開館日数	学内者					学外者	合計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全体	359日	12,259	96,851	1,941	1,380	112,431	3,586	116,017
うち土日祝	113日	588	17,900	191	571	19,250	1,029	20,279

※ 土・日・祝日開館9時～翌日9時

エ 利用概要（令和元年度）

項 目		利用数
利用状況	館外貸出	11,411冊（うち本学卒業生751冊）
	相互利用（学外からの受付）	2,518件（うち道内医療機関等1,899件）
	相互利用（学外への依頼）	1,719件

オ 地域医療支援（令和元年度文献複写受付）

（単位：件）

相互利用（学外からの受付）	内 訳	医療機関等	大学等	その他	計
	道 内	1,899	106	7	2,012
	道 外	58	448	0	506
	計	1,957	554	7	2,518

カ 特徴的な業務

(ア) 24時間開館の実施

(イ) 閲覧席で持参のノートパソコンを使用したデータベースやインターネットへの接続環境を提供

(ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供

- ・米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用

- ・国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用

(エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

(オ) 北海道地域医療機関電子ジャーナル・コンソーシアムの実施

8 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

- 平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足
- 平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足
- 平成30年4月 事務局研究支援課設置に伴い、産学・地域連携センターを改編

(2) 歴代センター長

平成18年4月1日－平成20年3月31日	濱田洋文
平成20年4月1日－平成23年5月9日	三高俊広
平成23年5月10日－平成24年3月31日	黒木由夫
平成24年4月1日－平成26年3月31日	佐藤昇志
平成26年4月1日－平成30年3月31日	澤田典均
平成30年4月1日－現在	堀尾嘉幸

(3) 組織

(令和2年10月1日現在)

センター長	部門長	特任准教授	特任講師	特任助教	計
1※	2(うち1※)	1	1	1	6

※兼務

(4) 業務概要

ア 研究部門

- 外部資金獲得に向けた研究者支援
- 地域連携に係る研究者支援

イ 開発部門

- 知的財産に係る研究者支援
- 産学連携に係る研究者支援

(5) 文部科学省科学研究費助成事業

研究種目	平成30年度						令和元年度							
	新規					交付合計		新規					交付合計	
	応募		交付内定		採択率			応募		交付内定		採択率		
	件数	金額 (期間総額)	件数	金額 (期間総額)		件数	金額 (H30年度)	件数	金額 (期間総額)	件数	金額 (期間総額)		件数	金額 (R元年度)
科学研究費	288	1,603,178	78	274,130	27.1%	221	280,530	291	1,563,291	101	335,640	34.7%	241	307,840
特別推進研究	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
新学術領域研究 (研究領域提案型)	6	148,534	0	0	0.0%	1	2,400	4	24,273	0	0	0.0%	0	0
(計画研究)	1	114,600	0	0	0.0%	1	2,400	0	0	0	0	-	0	0
(公募研究)	5	33,934	0	0	0.0%	0	0	4	24,273	0	0	0.0%	0	0
基盤研究	154	906,823	51	196,800	33.1%	148	197,450	157	998,904	51	192,800	32.5%	153	202,500
(S)	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
(A)	1	49,720	0	0	0.0%	2	16,600	2	99,995	0	0	0.0%	2	15,300
(B)	9	177,350	3	39,000	33.3%	9	35,600	13	246,871	3	39,500	23.1%	9	36,400
(C)	144	679,753	48	157,800	33.3%	137	145,250	142	652,038	48	153,300	33.8%	142	150,800
挑戦の研究	21	117,798	0	0	0.0%	5	7,300	18	83,406	0	0	0.0%	2	2,400
(開拓)	2	32,367	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	-	0	0
(萌芽)	19	85,431	0	0	0.0%	5	7,300	18	83,406	0	0	0.0%	2	2,400
若手研究	95	408,336	26	76,800	27.4%	66	72,850	103	441,131	45	133,600	43.7%	81	98,000
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究活動スタート支援	9	18,822	0	0	0.0%	0	0	7	13,660	4	8,700	57.1%	4	4,400
奨励研究	3	2,865	1	530	33.3%	1	530	2	1,917	1	540	50.0%	1	540
特別研究促進費	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
特別研究員奨励費	2	5,000	2	3,400	100.0%	3	2,700	1	2,500	1	2,500	100.0%	3	2,500
研究成果公開促進費	0	0	0	0	-	0	0	3	3,294	1	2,000	33.3%	1	2,000
国際共同研究加速基金	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
国際共同研究強化	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計	290	1,608,178	80	277,530	27.6%	224	283,230	295	1,569,085	103	340,140	34.9%	245	312,340

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	88	250,119	76	290,198	96	257,145
一般受託研究	91	43,535	86	93,585	89	82,984
合 計	179	293,654	162	383,783	165	340,129

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
出 願	21	33	54	29	22	63
取 得	13	12	45	19	51	18

※出願数は、国際出願（PCT 出願）を含む。

9 寄附講座

(1) 生体工学・運動器治療開発講座

ア 沿革

平成 24 年 4 月 1 日 バイオメット・ジャパン株式会社 (2016 年 2 月 1 日よりジンマー・バイオメット合同会社) 及びスミス・アンド・ネフュー オーソペディックス株式会社 (2017 年 1 月 1 日よりスミス・アンド・ネフュー株式会社) の寄附により、寄附講座として生体工学・運動器治療開発講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 24 年 4 月 1 日－現 在 山 下 敏 彦

(イ) 代表教員

平成 24 年 4 月 1 日－現 在 名 越 智

ウ 組織

(令和 2 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任教授	研究支援員	計
2※	1※	2※	1	0	6

※兼務

エ 研究計画の概要

中高年の運動器疾患の治療に用いる人工関節では、その耐用年数が問題となる。一方、若年者の関節疾患に対しては、生体工学的環境の改善が求められる。そのため新しい手術方法の開発とその臨床応用、標準化が課題となる。本寄附講座では、運動器疾患治療の臨床面での困難な問題に対して、臨床的アプローチのみならず基礎的研究手法を応用し、これらの課題を解決していく。特に未固定標本を用いた運動器生体工学的研究とコンピュータ画像解析ソフトを用いたシミュレーションから運動器機能の改善、再建に関する新知見を得ることを目的とする。さらに運動器生体工学に関する教育を通じて専門的医療人の育成を行う。

- (ア) 骨切り術における三次元画像シミュレーション
- (イ) 人工関節における生体工学的研究
- (ウ) 手術アプローチの開発と安全性の検証
- (エ) 人工股関節インプラントデザインの検証と開発
- (オ) バランスの良い人工関節置換のための軟部組織解離の検討
- (カ) 特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術における臨床成績
- (キ) 特発性大腿骨頭壊死症における動物モデルの確立
- (ク) 若手整形外科医の教育
- (ケ) 人工股関節における金属合併症の解決策の試み

(2) アイン・ニトリ緩和医療学推進講座

ア 沿革

平成 25 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズ（現 株式会社アインホールディングス）及び株式会社ニトリの寄附により、寄附講座としてアイン・ニトリ緩和医療学推進講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

(イ) 代表教員

平成 25 年 4 月 1 日 ー 平成 25 年 11 月 30 日 杉 本 直 子

平成 25 年 12 月 1 日 ー 現 在 米 田 舞

ウ 組織

(令和 2 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	特任助教	計
1 ※	1 ※	2	4

※ 兼務

エ 研究計画の概要

本講座では、緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療の普及と発展を図るため、次の取組を実施する。

- (ア) 患者・家族の緩和医療・ケアに求めるものに関しての実態調査を実施し、分析するとともに、多職種連携に関する研究課題を検討する。
- (イ) 検討事項に関して、身体症状担当医師、精神症状担当医師、認定看護師、認定薬剤師臨床心理士、社会福祉士がそれぞれの分野において活動し、その成果を公表するとともに、多職種連携が適切に行われ臨床に活かされているかを考察し、教員・研究者へのフィードバックと院内・外、地域医療へ還元する。
- (ウ) 「がん相談サロン」のあり方を検討し、がん患者の包括的アセスメントに占めるコ・ワーカーとしての位置づけを確立する。
- (エ) 多職種連携型の緩和医療を推進するモデルケースとして当講座の役割を地域において公開講座、学会、セミナー等で発信する。

(3) 再生治療推進講座

ア 沿革

平成 26 年 2 月 1 日 ニプロ株式会社の寄附により、寄附講座として再生治療推進講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 26 年 2 月 1 日－現 在 本 望 修

(イ) 代表教員

平成 26 年 2 月 1 日－平成 28 年 3 月 31 日 池 端 知 沙

平成 28 年 4 月 1 日－現 在 岡 真 一

ウ 組織

(令和 2 年 10 月 1 日現在)

教授	准教授	特任講師	特任助教	研究支援者	訪問研究員	研究補助員	計
1 ※	1 ※	2	4	2	1 3 1 ※	1	1 4 2

※ 兼務

エ 研究計画の概要

本寄附講座は、神経再生医療学部門が進めてきた自己骨髄細胞を利用した脳梗塞や脊髄損傷等の再生医療の基礎研究、臨床研究及び医師主導型治験をベースに、神経再生医療学部門と共同で、医師主導型治験から、その後の再生医療の実用化（製造・販売）に向けた研究開発を行う。

- (ア) 治験薬 GMP に則った細胞の製造から、施設管理、衛生管理、品質管理及びパイロットプラントである CPC の維持管理業務等、治験薬製造の効率化を検討する。
- (イ) 細胞医薬品の同等性評価方法の研究に着手する。また、より適切な方法と試験に必要な器具の開発を行う。更に品質検査体制について、新体制で品質検査を実施するために各種バリデーションと作業員の教育訓練を実施し、早期に新体制を確立する。
- (ウ) 実用化の際に課題となるコスト削減と製造環境の無菌性の向上を目標に専用の製造設備の開発に着手する。
- (エ) 原料となる患者から採取した血液と骨髄及び製品の搬送条件を検討する。搬送時の温度と時間による劣化を検討し、その結果を基に品質を安定化できる搬送器具の開発に着手する。
- (オ) 製品の有効期限を検討するため、長期安定性試験を実施する。培養した細胞を長期に冷凍保管し、長期保存のデータを取得する。

(4) 北海道病院前・航空・災害医学講座

ア 沿革

平成 28 年 4 月 1 日 寄附講座として北海道病院前・航空・災害医学講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 28 年 4 月 1 日－現在 成 松 英 智

(イ) 代表教員

平成 28 年 4 月 1 日－平成 28 年 8 月 31 日 窪 田 生 美

平成 28 年 9 月 1 日－平成 29 年 3 月 31 日 森 幸 野

平成 29 年 4 月 1 日－平成 29 年 11 月 30 日 吉 田 有 法

平成 29 年 12 月 1 日－平成 31 年 3 月 31 日 中 舘 聡 子

平成 31 年 4 月 1 日－令和 2 年 3 月 31 日 岡 本 憲 幸

令和 2 年 4 月 1 日－現在 齋 藤 僚 太

ウ 組織

(令和 2 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任助教	研究補助員	計
1 ※	2 ※	8 ※	1	1	13

※ 兼務

エ 研究計画の概要

- ・北海道の病院前救護を研究するとともに、救急救命士等救急隊員の教育プログラムを開発し、病院前救護の高度化に貢献する。
- ・広大で医療資源の偏在が著しい北海道の航空医療体制確立を図るための研究及び救急搬送ヘリコプター等、航空医療搬送関係機関の連携体制、医療優先固定翼機の導入及び運用に向けた研究を行う。
- ・北海道の災害医療を研究するとともに、災害医療従事者の教育プログラムを開発し、災害発生時に効果的に活動できる医療体制確立に貢献する。

(ア) 救急救命士の教育方法の研究

(イ) メディカルコントロールについての研究

(ウ) 医療用ヘリコプターの有効性と課題の研究

(エ) 医療優先固定翼機の有効性と課題の研究

(オ) 災害時医療チームの教育方法の研究

(カ) 災害時医療体制の研究

(キ) 高齢者救急の研究

10 決算・予算

(1) 令和元年度決算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	決算額	科目	決算額
<u>運営費交付金</u>	6,673,000	<u>業務費</u>	34,047,001
運 営 費 交 付 金	6,673,000	教 育 研 究 経 費	956,916
		医 薬 材 料 費	11,340,770
<u>学生納付金</u>	792,001	診 療 経 費	3,087,544
学 生 納 付 金	792,001	管 理 経 費	4,507,241
		人 件 費	14,154,530
<u>附属病院収入</u>	26,418,278	<u>財務費用</u>	612,500
診 療 収 入	26,418,278	長 期 借 入 金 償 還 費	612,500
<u>雑収入</u>	615,887	<u>受託経費</u>	427,969
負 担 金 及 び 補 助 金	181,171	受 託 経 費	427,969
科学技術研究費等間接経費	118,902		
そ の 他 雑 収 入	315,814	<u>寄附金事業費</u>	685,572
<u>受託収入</u>	432,543	寄 附 金 事 業 費	685,572
受 託 収 入	432,543	<u>施設等整備費</u>	1,006,448
<u>寄附金収入</u>	685,572	施 設 整 備 費	372,105
寄 附 金	685,572	機 器 整 備 費	634,343
<u>道費補助金</u>	372,105	<u>越積立金取崩収入</u>	199,429
施 設 整 備 費 補 助 金	372,105	越 積 立 金 取 崩 収 入	199,429
<u>道費借入金</u>	634,343		
医 療 機 器 整 備 費 借 入 金	634,343		
<u>繰越積立金取崩収入</u>	199,429		
越 積 立 金 取 崩 収 入	199,429		
計	36,823,158	計	36,978,919

(2) 令和2年度予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>7,437,000</u>	<u>業務費</u>	<u>35,879,796</u>
運営費交付金	7,437,000	教育研究経費	1,029,145
		医薬材料費	11,940,984
<u>学生納付金</u>	<u>813,497</u>	診療経費	3,449,347
学生納付金	813,497	管理経費	4,739,904
		人件費	14,720,416
<u>附属病院収入</u>	<u>27,690,587</u>	<u>財務費用</u>	<u>611,680</u>
診療収入	27,690,587	長期借入金償還費	611,680
<u>雑収入</u>	<u>550,392</u>	<u>受託経費</u>	<u>324,152</u>
負担金及び補助金	136,681	受託経費	324,152
科学技術研究費等間接経費	130,650	<u>寄附金事業費</u>	<u>603,107</u>
その他雑収入	283,061	寄附金事業費	603,107
<u>受託収入</u>	<u>324,152</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,264,470</u>
受託収入	324,152	施設整備費	669,717
<u>寄附金収入</u>	<u>603,107</u>	機器整備費	594,753
寄附金	603,107	<u>繰越積立金活用事業費</u>	<u>123,605</u>
<u>道費補助金</u>	<u>669,717</u>	繰越積立金活用事業費	123,605
施設整備費補助金	626,742		
修学支援補助金	42,975		
<u>道費借入金</u>	<u>594,753</u>		
医療機器整備費借入金	594,753		
<u>繰越積立金取崩収入</u>	<u>123,605</u>		
繰越積立金取崩収入	123,605		
計	38,806,810	計	38,806,810

12 校舎等建物面積

(令和2年10月1日現在)
(単位：㎡)

用途別	建物別	計	大 学 校 舎						更衣室
			東棟	本部棟	保健医療学 研究棟	臨床教育 研究棟	基礎医学 研究棟	教育研究棟 I	
校	講義室・演習室	5,935	680	358	1,850	252		2,795	
	実験室・実習室	6,849	224		2,015	79	286	4,245	
	研究室	3,848	352		2,262	63	509	662	
	講座関係	10,768	463	27	129	6,301	3,848		
	標本館	370					370		
	図書館	4,230					4,230		
	附属研究所	1,441						1,441	
	動物実験施設部	1,360	1,065	295					
舎	講堂	490				490			
	管理関係その他	39,204	5,154	1,245	4,778	7,605	11,311	8,936	175
計		74,495	7,938	1,925	11,034	14,790	20,554	18,079	175

用途別	建物別	計	附 属 病 院				屋内体育 館 リハビリ 教育実習 棟	がらんど 附属物 学生寮	保育所	国際医学 センター	国際医学 交流 センター	交 流 会 館	ファミリ ー ハウス	記 念 ホ ール	細胞プロ セッシング 施設	ブ ロ セ ッ グ 施 設	旧 看 護 師 宿 舎	その他
			中央診療 棟 病	外 来 診 療 棟	来 棟	西 病 棟												
附 属 病 院	病棟関係	29,089	22,253	2,382	4,454													
	外来関係	9,079	901	7,731	447													
	中央部門	12,865	10,257	1,116	1,492													
	管理関係その他	27,783	17,631	3,096	7,056													
院小計		78,816	51,042	14,325	13,449													
体育施設 リハビリ実習施設		3,331				3,253	78											
学 生 寮		1,190					1,190											
保 育 施 設		747						747										
国 際 医 学 交 流 セ ン タ		618							618									
交 流 会 館		1,907								1,907								
ファミリ ー ハウス		553										553						
記 念 ホ ール		733											733					
細胞プロセ ッ シ ン グ 施 設		364												364				
そ の 他		3,012														2,847	165	
計		91,271	51,042	14,325	13,449	3,253	78	1,190	747	618	1,907	553	733	364	2,847	165		

総 計 165,766

令和2年度 札幌医科大学要覧

令和2年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学
事務局経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線22170

FAX 011-611-2237

<https://web.sapmed.ac.jp/>
